本文 46/43 3

○勅令

朕警部監獄書記看守長特別任用令中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十一年十二月十九日

内閣總理大臣　侯爵山縣有朋
内務大臣　侯爵西鄉從道

勅令第三百五十一號

明治三十年勅令第二百十五號警部監獄書記看守長特別任用令中左ノ通改正ス

第一條中「警部」ノ下ニ「消防士」ヲ加ヘ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ニ依リ任用セラレタル警部消防士ハ互ニ轉任スルコトヲ得

勅令第三百五十一號參照

勅令第二百十五號警部監獄書記看守長特別任用令（明治三十年六月二十二日官報）抄錄

第一條　巡査看守在職三箇年以上ニシテ精勤證書ヲ有シ現ニ其ノ職ヲ奉スル者ハ實務ノ成績ヲ考査シ及學術ヲ試驗シ巡査ハ警部ニ看守ハ監獄書記看守長ニ任用スルコトヲ得

巡査ニ關スル考査及試驗ハ警視廳ニ在テハ本廳勤務ノ警視三人北海道廳府縣ニ在テハ書記官警部長參事官看守ニ關スル考査及試驗ハ集治監ニ在テハ典獄警視廳ニ在テハ警視二人第四部長北海道廳府縣ニ在テハ書記官參事官典獄之ヲ行フ但シ北海道廳ニ在テハ書記官參事官ノ內各一人トス

朕明治三十年六月十五日華盛頓ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ノ記名調印シタル萬國郵便條約ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十一年十二月十九日

内閣總理大臣　侯爵山縣有朋
外務大臣　子爵青木周藏
遞信大臣　子爵芳川顯正

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞米利加合衆國、亞然的音共和國、埃地利洪爲利、白耳義、「ボリビー」、「ボスニー」、「ヘルゼゴヴヰヌ」、伯西兒、勃爾瓦利、智利、淸帝國、古倫比亞共和國、公果獨立國、韓王國、古西多利加共和國丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、「エクアトール」、西班牙及西班牙殖民地、佛蘭西佛蘭西殖民地、大不列顚及大不列顚諸殖民地、英領印度、濠太剌利、大不列顚殖民地、加那太、南亞弗利加大不列顚殖民地、希臘、「ガテマラ」、「ハイチ」共和國、布哇共和國、伊太利、日本、「リベリア」共和國、歷山堡、墨西哥、滿得涅各羅、那威、「オランジュ」自由國、「パラグー」、和蘭、和蘭殖民地、白露波斯、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、暹羅王國、南亞弗利加共和國、瑞典、瑞西、突尼斯撒改國、土耳古、「ウルグー」及「ベネズエラ」合衆國ノ間ニ締結セル萬國郵便條約

下ニ署名スル前揭諸國政府ノ全權委員ハ千八百九十一年七月四日維也納ニ於テ締結セシ萬國郵便條約第二十五條ニ據リ華盛頓ニ於テ大會議ヲ開キ更ニ批准ヲ受クヘキモノトシテ前記條約ヲ協議改正セシコト左ノ如シ

第一條

本條約ヲ締結スル諸國竝ニ今後之ニ加盟スル諸國ハ各其ノ郵便局ノ間ニ互ニ郵便物ヲ交換スル爲萬國郵便聯合ノ名稱ヲ以テ單一ノ郵便邦疆ヲ組成ス

第二條

本條約ノ條款ハ聯合諸國ノ一國ヲ發シ聯合諸國ノ他ノ一國ニ宛テタル信書通常郵便端書、往復郵便端書、各種印刷物、業務用書類及商品見本ニ之ヲ適用スル

ルトス該條款ハ聯合諸國ト聯合外諸國トノ間ニ於ケル前記物品ノ郵送交換ニモ亦適用セラルルモノトス

第三條

一　境界相接スル國或ハ他廳ノ媒介ヲ借ラスシテ相互ノ間直接ニ郵便物ヲ交換シ得ヘキ國ノ郵政廳ハ協議ノ上其ノ國境ヲ通過シ或ハ其ノ國境ヨリ他ノ國境迄各自ノ郵便物ヲ遞送スル條件ヲ約定ス

二　二國間直接ノ海運ニシテ其ノ一國ニ屬スル郵船又ハ船舶ニ依ルモノハ特殊ノ約定アルニアラサレハ媒介ノ遞送ト看做スヘシ此ノ遞送竝ニ同一國ノ二郵便局間ニ於テ他國ノ管理スル海運若ハ陸運ノ媒介ニ依ル遞送ハ共ニ第四條ノ條款ニ照シテ處理スヘキモノトス

第四條

一　郵便物繼越遞送ノ自由ハ聯合全邦疆內ニ於テ之ヲ確保スヘシ

二　故ニ聯合郵政廳ハ交通ノ需要ト郵便事務ノ都合トニ從ヒ一廳若ハ數廳ノ媒介ニ依リ互ニ閉囊若ハ開囊郵便物ヲ差立ツルコトヲ得

三　聯合二郵政廳ノ間ニ聯合ノ他ノ一廳若ハ數廳ノ媒介ニ依リ開囊若ハ閉囊郵便物ヲ交換スルトキハ其ノ郵便物ノ通過スル各國或ハ其ノ遞送ヲナス各國ヘ左ノ繼越遞送料ヲ支拂フヘシ

第一　陸路ハ信書若ハ郵便端書一「キログラム」ニ付二十五「サンチーム」其ノ他ノ物品一「キログラム」ニ付二十五「サンチーム」

第二　海路ヘ

甲　航路三百海里ヲ超過セサルトキハ陸路ノ繼越遞送料但シ三百海里ヲ超過セサル海運ニシテ其ノ關係郵政廳既ニ遞送郵便物ニ付陸路繼越遞送料ヲ收得セシトキハ無料タルヘシ

乙　航路三百海里ヲ超過セルトキト雖歐羅巴諸國間、歐羅巴ト地中海及黑海ニ於ケル距弗利加及亞細亞諸港トノ間、若ハ此レ等諸港相互ノ間竝ニ歐羅巴ト北亞米利加トノ間ニ於ケル交換ニ對シテハ信書若ハ郵便端書一「キログラム」ニ付五「フランク」其ノ他ノ物品一「キログラム」ニ付五十「サンチーム」同一國ノ二港間及郵船ノ同一航路ニ在リテ一千五百海里ヲ超過セサル二國諸港間ノ海運ニシテ聯合疆內ニ於テ擔當セラルルモノニ付テモ亦同樣ノ料金ヲ適用ス

丙　前記甲乙二節ノ部類ニ屬セサル總テノ海運ニ付テハ信書若ハ郵便端書一「キログラム」ニ付一「フランク」二國以上ノ郵政廳ニ於テ海運ヲナストキハ其ノ一「フランク」其ノ他ノ物品一「キログラム」ニ付十五「フランク」ノ割合ヲ以テ分配スヘシ但シ關係郵政廳間ニ特殊ノ約定ヲナシタルトキハ此ノ限ニアラス

第三　聯合邦疆內ニ於テ之ヲ確保スヘシ

第四　本條規定ノ繼越遞送料ハ聯合外諸國トノ間ニ於ケル前記物品ノ郵送交換ニモ亦適用セラルルモノトス

第五條

第一　陸路繼越遞送料ハ左ノ割合ヲ以テ減額スヘシ

本條約實施ノ後最初ノ二年間ハ百分ノ十

次ノ二年間ハ百分ノ十五

四年以後ハ百分ノ二十

第二　陸路繼越遞送料ノ收入額及支出額ヲ合シ一箇年五千「フランク」ヲ超過セス且其ノ支出額ノ收入額ニ超過スル諸國ハ陸路繼越ニ關スル總テノ支拂ヲ免除セラルルモノトス

第三　前記第三項第二丙ニ揭記スル信書若ハ郵便端書一「キログラム」ニ對スル十五「フランク」ノ海路繼越遞送料ハ左ノ如ク減額スヘシ

本條約實施ノ後最初ノ二年間ハ十四「フランク」

次ノ二年間ハ十二「フランク」

四年以後ハ十「フランク」

繼越遞送料ハ差出國郵政廳ノ負擔ニ屬スルモノトス

繼越遞送料ノ總計算ハ第二十條ニ記載スル施行細則ニ依リ定ムル條件ニ基キ之ヲ施行ス

第十一條第二項ニ揭記スル官用郵便物、差出國ヘ返送スル返信郵便端書再發又ハ誤達ノ郵便物、不能配達郵便物、到達證、郵便爲替券及其ノ他總テ郵便事務ニ關スル書類ハ其ノ海陸ノ繼越遞送料ヲ免除ス

第五條

聯合邦疆內郵便物ノ遞送ニ關スル郵便料ハ從來配達業務ヲ開設スル若ハ今後開設スヘキ聯合國ニ於テハ其ノ名宛人ノ住所ヘ配達スル迄ヲ合シ左ノ如ク定ムルモノトス

第一　信書ハ一通ニ付重量十五グラム若ハ十五「グラム」ノ端數毎ニ完納料ノトキハ二十五「サンチーム」未納料ノトキハ其ノ二倍

第二　郵便端書ハ通常端書一枚或ハ往復端書ノ各部ニ付完納料ノトキハ其ノ二倍

第三　各種印刷物、業務用書類竝ニ商品見本ハ一ノ名宛アル一箇ノ物品若ハ一箇ノ包束物ニ付重量五十グラム若ハ五十「グラム」ノ端數毎ニ五「サンチーム」但シ此ノ如キ物品若ハ包束物ハ信書若ハ現ニ相互ノ間ニ往復スル通信文ノ性質ヲ具フル書類ヲ包含スヘカラス且

檢査シ易ク包裝スヘシ

業務用書類ノ郵便料ハ一箇ニ付二十五「サンチーム」又商品見本ノ郵便料ハ一箇ニ付十「サンチーム」以下タルヲ得ス

二　前項ニ定ムル郵便料ノ外左ノ增郵便料ヲ徵收スルコトヲ得

第一　信書若ハ郵便端書一「キログラム」毎ニ十五「フランク」其ノ他ノ物品一「キログラム」毎ニ一「フランク」ノ海路繼越遞送料ヲ支拂フヘキ郵便物ニ付テハ其ノ遞送料ヲ適用スル諸國ノ關係ニ於テ信書一通分ニ付二十五「サンチーム」郵便端書一枚ニ付五「サンチーム」其ノ他ノ物品五十「グラム」若ハ五十「グラム」ノ端數毎ニ五「サンチーム」ヲ超過セサル均一ノ增郵便料

第二　聯合外ノ郵政廳ニ於テ管理スル遞送或ハ特ニ費用ヲ要スル聯合內ニ於ケル特殊ノ遞送ニ屬スル各郵便物ニ付テハ其ノ費用相當ノ增郵便料

通常郵便端書ノ郵便料ニシテ前二節ニ規定スル增郵便料ヲ含有スルトキハ該郵便料ハ往復郵便端書ノ各部ニ適用スヘキモノトス

三　不足料ノ郵便物ハ其ノ種類ニ拘ラス總テ名宛人ヨリ不足額ノ二倍ヲ徵收ス但シ此ノ二倍額ハ名宛國ニ於テ同種類、同重量及同出處未納料郵便物ニ付徵收スル料金額ヲ超過スルコトヲ得

四　信書及郵便端書ヲ除キ其ノ他ノ郵便物ハ少クモ郵便料ノ一部分ヲ前拂セサルヘカラス

五　商品見本ノ包束物ハ市價ヲ有スル物品ヲ包有スルヲ得ス其ノ重量ハ三百五十「グラム」及其ノ寸尺ハ長三十「サンチメートル」幅二十「サンチメートル」厚十「サンチメートル」若シ卷物體ノモノナルトキハ長三十「サンチメートル」直徑十五「サンチメートル」ヲ超過スヘカラス

六　業務用書類竝ニ印刷物ノ包束物ハ其ノ重量二「キログラム」及其ノ各面ノ寸尺四十五「サンチメートル」ヲ超過スルヲ得ス但シ卷物體ノ包束物ニシテ直徑七「サンチメートル」長七十五「サンチメートル」ヲ超過セサルモノハ之ヲ郵送スルコトヲ得

第六條

一　第五條ニ記載スル郵便物ハ書留トシテ發送スルコトヲ得

二　書留郵便物ニ付テハ差出人ヨリ左ノ料金ヲ徵收スヘシ

第一　郵便物ノ種類ニ從ヒ通常前拂ニ要スル郵便料

第二　差出人ヘ交付スル領收證ヲ合シ二十五「サンチーム」ヲ超過セサル一定ノ書留手數料

三　書留郵便物ノ差出人ハ其ノ差出ノ際ニ當リ二十五「サンチーム」ヲ超過セサル一定ノ手數料ヲ支拂フトキハ該郵便物ノ到達證ヲ受收スルコトヲ得

四　到達證手數料ハ差出人到達證ヲ受收スル爲特ニ手數料ヲ支拂ハスシテ書留郵便物ヲ差出シタル後其ノ踪跡取調ヲ請求スル場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

五　書留郵便物ノ亡失セシトキハ不可抗力ノ場合ヲ除キ差出人又ハ差出人ノ依賴ニ由リ名宛人ハ五十「フランク」ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

不可抗力ノ場合ニ於テ生スヘキ危險ヲ擔保スル諸國ハ書留郵便物一箇ニ付二十五「サンチーム」以內ノ增手數料ヲ差出人ヨリ徵收スルコトヲ得

賠償金支拂ノ義務ハ差出局ヲ管理スル郵政廳ニ屬スルモノトス但シ該郵政廳ハ責任郵政廳卽チ其ノ邦疆內若ハ其ノ管掌中ニ於テ亡失セシ郵政廳ニ對シ要償ヲ爲スコトヲ得

前項ニ揭記スル危險ヲ擔保スル國ノ邦疆內若ハ管掌中ニ於テ不可抗力ニ由リ他國發書留郵便物ヲ亡失セシトキハ之ヲ亡失シタル國ハ其ノ差出郵政廳カ差出人ニ對シ不可抗力ノ場合ニ於ケル危險ヲ擔保スルトキハ同廳ニ對シテ責任ヲ有スルモノトス

郵便物ヲ異讀ナク受領シタル後之ヲ名宛人ニ配達シ又ハ次ノ郵政廳ニ正當ニ送達シタルコトヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ反對ヲ證明スル迄ハ責任ヲ有スルモノトス但シ留置郵便物ニ付テハ名宛國ノ現行規則ニ據リ姓名、身分共ニ該郵便物ノ表記ト同一ナルコトヲ證明セル人ニ交付シタルトキハ其ノ責ヲ免カルルモノトス

差出郵政廳ハ成ルヘク速ニ賠償金ヲ支拂フヘシ遲クモ賠償請求ノ日ヨリ

第4643号 本文

起算シ一箇年ヲ超過スヘカラス又責任郵政廳ハ差出郵政廳ヘ速ニ賠償金額ヲ償還スヘシ

五 正當ニ照會ヲ受ケタル媒介郵政廳又ハ名宛郵政廳ニ於テ何等ノ處理ヲナサス一箇年間放棄スルトキハ差出郵政廳ハ右郵政廳ニ代リ差出人ヘ賠償金ヲ支拂フコトヲ得、又當然責任ヲ有スヘキ郵政廳ニシテ最初賠償金ノ支拂ヲ拒ミタル場合ニ於テハ同廳ハ賠償金ノ外其ノ支拂上不當ノ遲延ヨリ生スル雜費ヲモ併セテ負擔セサルヘカラス

六 賠償ノ請求ハ書留郵便物ヲ郵便局ニ差出シタル日ヨリ起算シ一箇年以內ニ限リ之ヲ受理ス此ノ期限經過ノ後ハ請求人ハ賠償ヲ受クルノ權利ヲ失フモノトス

七 書留郵便物遞送中亡失シ其ノ事實何國ノ邦疆內若ハ管掌中ニ於テ發生セシヤヲ確定シ難キ場合ニ於テハ關係郵政廳ハ平等ニ其ノ賠償金ヲ負擔スヘシ

八 書留郵便物ノ權利者受取證ヲ差出シ受領シタル後ハ郵政廳其ノ責任ヲ免カルルモノトス

第九條

一 郵便物ノ差出人ハ郵便物ノ未タ名宛人ニ配達セラレサル間ハ之ヲ取戻シ若ハ其ノ名宛ヲ變更スルコトヲ得

二 郵便物ノ取戻若ハ名宛變更ノ請求ハ差出人左ノ料金ヲ自辨スルニ於テハ郵便若ハ電信ニ依リ之ヲ送達ス

第一 郵便ニ依リ請求スルトキハ書留信書一通分ノ郵便料

第二 電信ニ依リ請求スルトキハ通常ノ料金表ニ據ル電報料

三 本條ノ條款ハ法制上差出人ヲシテ遞送中ノ郵便物ヲ隨意ニ處分セシムルコトヲ允許セサル諸國ニ於テハ之ヲ遵守スルノ義務ヲ有セサルモノトス

第十條

「フランク」ヲ以テ貨幣ノ單位トセサル聯合諸國ハ本條約ノ諸條款ニ定ムル郵便料ノ定率ニ從ヒ各自國ノ貨幣ヲ以テ郵便料ヲ定メ其ノ端數ハ本條約第二十條ニ記載スル施行細則ニ附スル貨幣比例表ニ從ヒ全數ニ切上クルコトヲ得

第十一條

一 一個人ノ郵便物ハ其ノ種類ニ拘ラス差出國ニ於テ效力ヲ有スル郵便切手ニアラサレハ其ノ郵便料ヲ前拂スルコトヲ得ス然レトモ特殊ノ目的ヲ以テ發行セシ郵便切手例ヘハ一時ノ效力ヲ有スル紀念郵便切手ノ如キモノハ之ヲ萬國郵便事務ニ使用スルヲ許サス

返信端書ニシテ其ノ發行國ノ郵便切手ヲ有スルモノ竝ニ郵便切手ヲ貼附セサルモ「Abonnements-poste」(郵便豫約)ナル表記ヲ有シ本條約第十九條ニ規定セル新聞紙豫約ニ關スル特殊ノ約定ニ準據シ發送スル新聞紙若ハ新聞紙ノ包束物ハ正當ニ前拂セシモノト看做スヘシ

二 郵便事務ニ關シ諸郵政廳相互ノ間諸郵政廳ト萬國郵便聯合總理局トノ間竝ニ聯合諸國郵便局相互ノ間ニ交換スル官用郵便物ハ郵便切手ヲ以テ前拂スルヲ要セス且該郵便物ニ限リ無料ニテ取扱フモノトス

三 郵便船航海中船上ニ設クル函內ニ投入シ或ハ船長ニ交付スル郵便物ハ該郵便船ノ所屬國又ハ維持國ノ料金表ニ從ヒ該國ノ郵便切手ヲ以テ前拂スルヲ得、船舶航海ノ甲乙兩極點ニ若ハ航海途中ノ寄港地ニ碇泊スルトキ投函若ハ交付スル郵便物ハ投錨スル國ノ料金表ニ從ヒ該國ノ郵便切手ヲ以テ郵便料ヲ納付セサレハ前拂ノ效力ナキモノトス

第十二條

一 各郵政廳ハ第五條、第六條、第七條、第十條及第十一條ニ從ヒ徵收セシ金額ヲ全部收得ス、但シ第七條第二項ニ記載スル郵便爲替ヨリ生スル收入金ハ此ノ限ニアラス

二 故ニ本條第一項ニ記載スル郵便爲替ヨリ生スル收入金ヲ除クノ外ハ聯合郵政廳ノ間ニ差引計算ヲナササルモノトス

三 信書及其ノ他ノ郵便物トモ差出國若ハ名宛國ニ於テハ差出人若ハ名宛人ヨリ前記諸條ニ記載スルモノヲ除キ其ノ他ノ郵便料若ハ郵便手數料ヲ徵收スルコトヲ得ス

第十三條

一 聯合諸國中其ノ相互ノ關係ニ於テ別配達業務ノ施行ヲ承諾スル諸國ニ於テハ差出人ノ請求ニ依リ各種郵便物ノ到著セシ後直チニ特別配達人ヲ以テ名宛人ノ住所ヘ配達スヘシ

二 此ノ郵便物ハ別配達ト稱シ特別配達料ヲ徵收ス此ノ配達料ハ三十「サンチーム」ト定メ差出人通常郵便料ノ外ニ豫メ之ヲ完納スルヲ要ス此ノ配達料ハ差出國郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

三 郵便局未設ノ地方ニ宛テタル別配達ノ郵便物ニ付テハ名宛郵政廳ハ其ノ內地郵便上別配達ノ爲ニ定ムル料金額ニ達スル迄更ニ補充料ヲ徵收スルコトヲ得、但シ此ノ補充料ハ差出人カ前拂セシ一定ノ別配達料若ハ補充料徵收國ニ於ケル通貨ノ相當額ヲ控除シ之ヲ算定スルモノトス

四 前拂スヘキ料金ノ全額ヲ前拂セサル別配達郵便物ハ通常ノ手續ニ依リ配達スヘシ

第十四條

一 聯合內ニ於テハ郵便物再發ノ爲何等ノ郵便料ヲ追徵セサルヘシ

二 不能配達ノ郵便物ニ付テハ最初ノ遞送ニ關シ媒介廳ノ收入ニ屬スル繼越遞送料ヲ返還セサルモノトス

三 未納料ノ信書及郵便端書竝ニ不足料ノ各種郵便物ニシテ再發ノ爲若ハ配達シ能ハサル爲差出國ニ返送セラレタルモノニ付テハ第一名宛國ヨリ差出國ヘ宛テ直送セシ同性質ノモノト同一ナル郵便料ヲ名宛人若ハ差出人ヨリ徵收スヘシ

第十五條

一 閉囊郵便物ハ締盟諸國ノ一國ノ郵便局ト外國ニ碇泊スル同國ノ艦隊若ハ軍艦ノ司令官トノ間ニ他國ノ管理ニ屬スル海陸郵便ノ媒介ニ依リ之ヲ交換スルコトヲ得

二 該閉囊郵便物ニ含有スル各種ノ郵便物ハ軍艦ノ乘組士官及乘組員ヨリ發シ若ハ此レ等ノ者ニ宛テタルモノニ限ルヘシ此ノ郵便物ニ適用スヘキ郵便料及發送ノ條件ハ軍艦所屬國ノ郵政廳其ノ內地ノ規則ニ從ヒ之ヲ定ムルモノトス

三 該閉囊郵便物ノ差出郵政廳若ハ名宛郵政廳ハ媒介郵政廳ニ對シ第四條ノ條款ニ據リ算定セル繼越遞送料ヲ支拂フヘシ但シ關係郵政廳ノ間ニ特殊ノ約定アルモノハ此ノ限ニアラス

第十六條

一 業務用書類、商品見本竝ニ印刷物ニシテ本條約第五條ニ依リ及第二十條ニ記載スル施行細則ニ依リ此ノ種類ノ郵便物ニ關シ定ムル條件ニ適合セサルモノハ之ヲ郵送セサルヘシ

二 前項ニ記載スル郵便物到著ノ場合ニ於テハ差出國ヘ返送シ還付ノ途アルトキハ差出人ニ還付スヘシ

三 禁制ノ事項左ノ如シ

第一 左記ノモノヲ郵便ニテ發送スル事

甲 其ノ品質郵便吏員ニ危害ヲ釀シ若ハ郵便物ヲ汚穢、損害スヘキ商品見本及其ノ他ノ物品

乙 爆發性、發火性、若ハ危險性ノ物品、生死ノ動物及蟲類但シ施行細則ニ記載スル例外ノモノハ此ノ限ニアラス

第二 左記ノモノヲ通常若ハ書留郵便物ニ封入郵送スル事

甲 流通正貨

乙 關稅ヲ課スヘキ物品

丙 金銀寶石珠玉其ノ他貴重ノ物品但シ關係國ノ法制上封入若ハ發送ヲ許サザル場合ニ限ル

四 第三項ノ禁制ニ觸レタル郵便物ニシテ誤テ發送セラレタルモノハ差出國ヘ返還スルヲ要ス但シ名宛國郵政廳ニ於テ其ノ內地ノ法律規則ニ據リ他ニ之ヲ處分シ得ヘキモノハ此ノ限ニアラス

然レトモ爆發性、發火性若ハ危險性ノ物品ハ差出國ヘ返還セス之ヲ發見セル郵政廳ニ於テ直チニ毀棄スヘキモノトス

五 聯合各國ノ政府ハ低料遞送ノ郵便物ニシテ國內ニ於テ發行若ハ頒布ノ條件ヲ規定スル法律勅令若ハ命令ニ牴觸スルモノ又ハ現行ノ法規ニ依リ禁止スル文言、圖畫等ヲ表示スル各種ノ郵便物ヲ領地內ニ於テ遞送若ハ配達セサルノ權利ヲ有ス

第十七條

一 聯合外ノ諸國ト關係ヲ有スル聯合ノ郵政廳ハ其ノ媒介ニ依リ聯合外ノ諸國ニ發著スル郵便物ヲ開囊ニテ遞送スル爲聯合ノ他郵政廳ニ對シ幇助セサルヘカラス

二 各種郵便物ノ繼越遞送料竝ニ書留郵便物ニ關スル責任ニ付テハ該郵便物ハ左ノ規則ニ據リ處理スヘシ

聯合疆內ノ遞送ニ付テハ本條約ノ規程ニ準據スル事

聯合疆外ノ遞送ニ付テハ其ノ媒介ニ從事スル聯合郵政廳ヨリ通知スル條件ニ準據スル事

然レトモ全海路ノ繼越遞送料ハ聯合ノ內外ヲ合シ信書若ハ郵便端書一「キログラム」ニ付二十「フランク」其ノ他ノ物品一「キログラム」ニ付一「フランク」ヲ超過スルヲ得ス、該遞送料ハ必要ナル場合ニ在テハ海運ニ從事スル郵政廳ノ間ニ海運ノ里程ニ應シ分配スヘシ

本條ヲ適用スヘキ郵便物ノ聯合內外ニ於ケル陸路若ハ海路ノ繼越遞送料ハ聯合諸國間ニ交換スル郵便物ノ繼越遞送料ト同一ノ手續ニ依リ調査スルモノトス

三 聯合外ノ諸國ヘ宛ツル郵便物ノ繼越遞送料ハ差出國郵政廳ノ負擔ニ屬スルモノトス同郵政廳ハ該郵便物ノ郵便料ヲ定ム、但シ該郵便料ハ聯合ノ通常郵便料ヨリ下タルコトヲ得ス

四 聯合外ノ諸國ヨリ發スル郵便物ノ繼越遞送料ハ名宛國郵政廳ニ於テ之ヲ負擔セサルヘシ、該郵政廳ハ悉皆完納料ノモノトシテ交付サレタル郵便物ハ無料ニテ之ヲ配達シ未納料郵便物ニハ該郵便物ノ差出國ヘ宛ツル同種類ノ郵便物ニ對シ自國ノ郵便ニ於テ適用スヘキ郵便料ノ二倍ヲ課シ及不足料ノ郵便物ニハ不足額ノ二倍ヲ課ス但シ此ノ二倍額ハ同種類、同重量及同出處ノ未納料郵便物ニ付徵收スル料金額ヲ超過スルコトヲ得ス

五 聯合郵政廳ノ媒介ニ依リ聯合國ト聯合外ノ國トノ間ニ發著スル郵便物ハ媒介郵政廳ノ同意ヲ得テ差出郵政廳ト名宛郵政廳トノ間ニ協議ヲ遂クルトキハ互ニ閉囊ニテ遞送スルコトヲ得

第十八條

締盟各國政府ハ郵便料前拂ノ爲僞造若ハ既ニ使用セシ郵便切手ノ詐欺使用ヲ處罰スル爲必要ノ處分法ヲ設ケ或ハ之ヲ其ノ議會ニ提出スヘキコトヲ約定ス、且締盟國郵政廳ノ發行ニ係ル郵便切手ト區別シ難ク僞造若ハ摸造セシ郵便用切手ノ製造、販賣、行賣及分配ニ關スル詐欺行爲ヲ禁遏責罰スル爲必要ノ處分法ヲ設ケ或ハ之ヲ其ノ議會ニ提出スヘキコトヲ約定ス

第十九條

價額表記ノ書狀及箱物竝ニ郵便爲替、郵便小包、除金取立金券、身元證明帳、新聞紙豫約等ノ業務ハ聯合中ノ諸國又ハ團體ノ間ニ特別ノ約定ヲ以テ定ムルモノトス

第二十條

一　聯合諸國郵政廳ハ本條約實施上必要ト認ムル總テノ手續細目ヲ施行細則ニ於テ協議決定スルコトヲ得

二　諸郵政廳ハ聯合ニ關セサル事項ニ付テハ本條約ニ牴觸セサル限リ互ニ必要ノ約定ヲ締結スルコトヲ得

三　從前レトモ郵政廳ハ本條約ニ定メタル地ニ限リ郵便料ノ低減ヲ協議約定スルコトヲ得

第二十一條

一　本條約ノ諸條款ニ規定スルモノヲ除キ本條約ハ各國ノ法制ニ何等ノ變更ヲ及ホスコトナシ

二　本條約ハ締盟各國カ郵便料ヲ低減シ若ハ總テ其ノ他郵便上ノ關係ヲ改良スルノ目的ヲ以テ他ノ聯合ヲ以テ特別ノ聯合ヲ保持シ若ハ締盟或ハ特別ノ聯合ヲ保持シ若ハ締盟ヲ成ス等ノ約定ヲ爲スヲ妨ケサルモノトス

第二十二條

一　聯合郵政廳ハ獨立ノ國ト雖モ郵政廳ノ監督ノ下ニアル植民地ヲ代表スルノ權利ヲ有スルモノトス

二　植民地ハ其ノ屬スル國ノ郵政廳ヲ經由シテ聯合ニ加入スルノ權利ヲ有スルモノトス

第二十三條

一　聯合郵政廳ハ獨立ノ國ト雖モ郵政廳ノ監督ノ下ニアル植民地ヲ代表スルノ權利ヲ有スルモノトス

二　植民地ハ其ノ屬スル國ノ郵政廳ヲ經由シテ聯合ニ加入スルノ權利ヲ有スルモノトス

第二十四條

一　本條約ニ加盟セサル諸國ノ其ノ請求ニ依リ加盟スルコトヲ得

二　此ノ加盟ハ外交上ノ手續ヲ經テ瑞西聯邦政府ヘ通達シ瑞西聯邦政府ハ之ヲ聯合各國ニ移牒スルモノトス

三　本條約ハ加盟セル諸國ニ對シテハ本條約ニ規定スル諸條款ヲ遵奉シ及諸利益ヲ享有セシムルモノトス

四　獨逸帝國郵政廳ハ加盟セサル國ノ政府ト協議ノ上其ノ國ノ郵政廳ニ於テ聯合ノ總理局ヲ經由シ及時宜ニ依リ第十條ニ從ヒ同盟ノ諸條款ノ修正ヲ提議スルノ權利ヲ有ス

第二十五條

一　本條約ハ千八百九十九年一月一日ヨリ實施シ無期間其ノ效力ヲ有スルモノトス

二　聯合ヨリ退盟スルノ權利ヲ有スルモノトス

三　聯盟各國ハ其ノ政府ヨリ瑞西聯邦政府ヘ二箇年前ニ報知スルトキハ本條約ヲ廢棄スルノ權利ヲ有スルモノトス

第二十六條

一　本條約ハ千八百九十九年一月一日ヨリ實施シ無期間其ノ效力ヲ有スルモノトス

二　聯盟各國ハ其ノ政府ヨリ瑞西聯邦政府ヘ二箇年前ニ報知スルトキハ本條約ヲ廢棄スルノ權利ヲ有スルモノトス

第二十七條

一　從前諸國若ハ諸郵政廳ノ間ニ締結シタル條約約定ノ其ノ他ノ取極ノ條款中第二十一條ニ揭記スル權利ヲ除キ本條約ノ條款ニ牴觸スルモノハ總テ本條約實施ノ日ヨリ廢止スヘシ

二　本條約ハ成ルヘク速ニ批准ヲ受ケヘシ此ノ批准事ハ華盛頓ニ於テ交換スルモノトス

三　右證據トシテ前揭諸國ノ全權委員ハ千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ本條約ニ署名セリ

獨逸及獨逸保護國	ブフリッチ
墨西哥國	ヴィマンス
中央亞米利加共和國	エス、ボレット、ベラザ

（次）

第一　本條約第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條ノ各國ノ領地ハ左ノ通分類ス

第一	獨逸帝國全體
第二	英領印度帝國
第三	加那太領
第四	濠太剌利大不列顛殖民地全體
第五	其ノ他ノ大不列顛殖民地全體
第六	丁抹殖民地全體
第七	西班牙殖民地全體
第八	印度支那佛蘭西殖民地
第九	其ノ他ノ佛蘭西殖民地全體
第十	和蘭殖民地全體
第十一	葡萄牙殖民地全體

第二　本條約第一條第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條ノ諸領地ハ各一個ノ郵政廳ヲ成形スルモノト看做ス

第三　本條約ノ諸條款ニ關スル解釋ニ付キ疑ヲ生スル場合ハ此ノ限ニアラス

四　有效ノ決議ハ第一及第二ノ場合ニ於テハ外交上ノ宣言書ヲ以テ確認スルモノトス

五　總テ可決セラレ修正又ハ決議ノ報知ノ後少クモ三箇月ヲ經過セサレハ之ヲ實施セス

第二十七條

第一條第二條第十五條及第十六條ヲ適用スルニ當リ左ノ諸國ハ場合ニ依リ各一個ノ國若ハ一郵政廳ヲ成形スルモノト看做ス

第一	獨逸殖民地全體
第二	英領印度帝國
第三	加那太領
第四	濠太剌利大不列顛殖民地全體
第五	其ノ他ノ大不列顛殖民地全體
第六	丁抹殖民地全體
第七	西班牙殖民地全體
第八	印度支那佛蘭西殖民地
第九	其ノ他ノ佛蘭西殖民地全體
第十	和蘭殖民地全體
第十一	葡萄牙殖民地全體

第二十八條

本條約ハ千八百九十九年一月一日ヨリ實施ス

ヘス然レトモ締盟各國ハ其ノ政府ヨリ瑞西聯邦政府ヘ二箇年前ニ報知スルトキハ本條約ヲ有スルモノトス

第二十九條

一　從前諸國若ハ諸郵政廳ノ間ニ締結シタル條約約定ノ其ノ他ノ取極ノ條款中第二十一條ニ揭記スル權利ヲ除キ本條約ノ條款ニ牴觸スルモノハ總テ本條約實施ノ日ヨリ廢止スヘシ

二　本條約ハ成ルヘク速ニ批准ヲ受ケヘシ此ノ批准事ハ華盛頓ニ於テ交換スルモノトス

三　右證據トシテ前揭諸國ノ全權委員ハ千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ本條約ニ署名セリ

獨逸及獨逸保護國	ブフリッチ
墨西哥國	ヴィマンス
中央亞米利加共和國	エス、ボレット、ベラザ
亞米利加合衆國	ジョン、ウェド、ワッシュバーン、ジョン、ロバーツ、ヘンリー
亞爾然丁國	ホセ、ヘー、ウリブルー
墺地利匈牙利	ヴィクトル、レイテル、ベルゲル
亞爾然的共和國	ユー、ゲー、ヘー、スン
白耳義	エス、ヴェ、ブルークス
波斯尼亞及黑爾斯哥維那	ヨハン、ヴェ、ヘルツフェルト
伯剌西見	ヴェ、ア、フォンクルー、カムレー
勃牙利	ア、ストヤノフ
智利	ヴェ、ヴェ、ヴェー
支那	ラ、ザ、ヴェー
古巴	ヴェ、ヴェ、ヴェー
哥倫比亞共和國	ヴェ、ヴェ、ヴェー
哥斯達利加共和國	ヴェ、ヴェ、ヴェー
丁抹及丁抹殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
多明尼加共和國	ヴェ、ヴェ、ヴェー
厄瓜多爾共和國	ヴェ、ヴェ、ヴェー
埃及	ヴェ、ヴェ、ヴェー
佛蘭西	ヴェ、ヴェ、ヴェー
佛蘭西殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
西班牙及西班牙殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
希臘	ヴェ、ヴェ、ヴェー
瓜地馬拉	ヴェ、ヴェ、ヴェー
海地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
洪都拉斯	ヴェ、ヴェ、ヴェー
意大利及意大利屬殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
日本帝國	ヴェ、ヴェ、ヴェー
墨西哥	ヴェ、ヴェ、ヴェー
尼加拉瓜	ヴェ、ヴェ、ヴェー
諾威	ヴェ、ヴェ、ヴェー
巴拉圭	ヴェ、ヴェ、ヴェー
和蘭及和蘭屬殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
秘魯	ヴェ、ヴェ、ヴェー
波斯	ヴェ、ヴェ、ヴェー
葡萄牙及葡萄牙屬殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
羅馬尼亞	ヴェ、ヴェ、ヴェー
俄羅斯及俄羅斯屬殖民地	ヴェ、ヴェ、ヴェー
薩爾瓦多	ヴェ、ヴェ、ヴェー
塞爾維亞	ヴェ、ヴェ、ヴェー
暹羅	ヴェ、ヴェ、ヴェー
瑞典及諾威	ヴェ、ヴェ、ヴェー
瑞西	ヴェ、ヴェ、ヴェー
土耳其	ヴェ、ヴェ、ヴェー
烏拉圭	ヴェ、ヴェ、ヴェー
委內瑞拉	ヴェ、ヴェ、ヴェー

（七）

第 4643 号　本文

濠太剌利大不列顛殖民地
加那太
南亞弗利加大不列顛殖民地地
希臘
ガテマラ
ハイチ共和國
布哇共和國
洪鳥利
伊太利
日本
リベリア共和國
歷山堡
墨西哥
滿得涅各羅
那威
オランジュ自由國
パラゲー
和蘭
和蘭殖民地
白露
波斯
葡萄牙及葡萄牙殖民地
羅馬尼
露西亞
塞爾維
ジョン、ガヴァン、ダッフィー
ウイリアム、ホワイト
エス、アール、ブレンチ
スペンサー、トッド
エドホウーン
ヂー、ノーヴエラ
ヂー、エヌ、レゼー
ピュール、ド、サライ
ゼー、ド、ヘンニエー
エー、キアラヂア
ゼー、セーヴアンシー
エー、デルマチー
小松謙次郎
湯川寬吉
チヤーレス、ホール、アダムス
ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン
ア、エム、シヤヴエー
イー、ガルフイアス
エム、ザパタ、ヴエラ
ドクトル、ノイバウエル
ハッベルダル
スチープラル
ヂアシユベ、ヘイエルダアール
ジョン、ステワート
ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴエエン
ヴアン、デル、ヴエエン
ジョース、ヂー、ベルク
アルベルト、フワルコン
ミルザ、アリナギー、カアン
ミュストシヤリュール、ヴェザレー
サント、チルゾー
セー、キルー
エル、プレダ
セヴアス、チアノーフ
ピュール、ド、サライ
ゼー、ド、ヘンニエー

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕帝國ト各郵便聯合國トノ間ニ於ケル交通ノ利便ヲ企圖シ明治三十年六月十五日華盛頓ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ノ記名調印シタル萬國郵便條約ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕カ意ニ適シ間然スル所ナキヲ以テ右條約ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百五十八年明治三十一年十二月八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣　子爵青木周藏

萬國郵便聯合
最終議定書

下ニ署名スル諸國政府ノ全權委員ハ華盛頓萬國郵便大會議ニ於テ議決セシ諸條約書ニ署名スルニ當リ協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條

大不列顛委員カ其ノ政府ノ名義ヲ以テ爲シタル宣言即チ本條約第二十七條第五ニ據リ其ノ他ノ大不列顛殖民地全體ニ附與スル表決權ヲ南亞弗利加大不列顛殖民地及保護國ヘ讓與シタリトノ宣言ヲ玆ニ揭記ス

第二條

條約第六條ニ於テ書留手數料ノ最高額ヲ二十五「サンチーム」ト定ムルニ拘ヲ

ヲ歐羅巴以外ノ諸國ハ差出人ニ交付スル領收證ヲ合シ從前ノ如ク該最高額ヲ五十「サンチーム」ニ保持シ得ヘキコトヲ約定ス

第三條

條約第八條ノ條歎ノ存スルニ拘ラス歐羅巴以外ノ諸國中現時其ノ法制上賠償責任ノ原則ヲ認メサル國ノ郵政廳ハ其ノ立法部ノ認許ヲ得ル日迄一時便宜ノ爲其ノ原則ノ實施ヲ遷延スルノ自由ヲ保持スルコトヲ約定ス但シ該原則實施ノ日迄聯合ノ他郵政廳ニ於テハ同國ニ發著スル書留郵便物ノ其ノ管掌中ニ於ケル亡失ニ對シ賠償ノ義務ヲ有セス

第四條

萬國郵便聯合ニ加盟セル「ドミニカ」共和國ハ大會議ニ其ノ委員ヲ派出セサリシヲ以テ該會議ニ於テ締結セシ諸條約ノ全部又ハ單ニ其ノ一部若ハ他ノ部ニ加盟シ得セシメル爲本議定書ハ同國ノ爲ニ餘地ヲ存ス

清帝國ノ委員ハ他日決定スヘキ期日ヨリ萬國郵便聯合ニ加盟スルノ意思ヲ大會議ニ於テ宣言セシヲ以テ同帝國ノ爲均シク餘地ヲ存ス

「オランジュ」自由國ノ委員ハ同國カ萬國郵便聯合ニ加盟スルノ意思ヲ發表セシヲ以テ同國ノ爲均シク餘地ヲ存ス

第五條

大會議ニ於テ締結セシ郵便本條約若ハ若干ノ條約ニ限リ本日諸委員ノ署名セシ諸國ヲシテ他ノ諸條約ノ全部又ハ其ノ一部若ハ他ノ部ニ加盟シ得セシメルノ便宜ヲ與ヘ本議定書ハ同諸國ノ爲ニ餘地ヲ存ス

第六條

第四條ニ記載スル加盟ノ件ハ各國政府ヨリ外交上ノ手續ヲ經テ亞米利加合衆國政府ヘ報知スルヲ要ス但シ右報知ノ期限ハ千八百九十八年十月一日トス

第七條

本日華盛頓ニ於テ署名セシ郵便諸條約ニ加盟セル一國若ハ數國ニ於テ此ノ諸條約ノ一部若ハ他ノ部ニ付批准セサルコトアリト雖此ノ條約ハ之ヲ批准セル諸國ニ對シテハ效力ヲ有スルモノトス

右證據トシテ下ニ記載スル全權委員ハ本最終議定書ヲ調製シ各之ニ署名ス此ノ最終議定書ノ條款ハ其ノ諸條約本文中ニ記載シタルト同一ノ效力價値ヲ有シ其ノ正本ハ亞米利加合衆國政府ノ文庫ニ保管シ其ノ謄本ハ一部宛各國ニ送付ス

千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ調製ス

獨逸及獨逸保護國
ブリツケ
ノイマン
中央亞米利加大共和國
エヌ、ポレット、ペラザ
ジョージ、エス、バッチエラー
エドワード、ローズウオーター
ヂームス、エス、メイナー
亞米利加合衆國
エス、エム、ブルークス
エー、ヂー、ハーズン
エム、ガルシア、メルー
ドクトル、ノイバウエル
ハッベルダル
スチープラル
リヒテルブエルド
ステルバン
ア、ラムビン
テー、アルジャンドロ、サントース
ドクトル、カムレー
ア、プオンツーラ、ザヴヰエー
イヴ、ストヤノヴヰツチ
エル、エル、イラザヴアール
タリマコ、カルデロン
リヒテルブエルド
ステルバン
ア、ラムビン
チン、ポム、エー
コロネル、ホー、サン、ミン代ジョン、ダブルユー、ホイト
ジョン、ダブルユー、ホイト
ヂー、ベー、カルヴオー
セー、スヴアンドサン
イグレック、サバー
エル、エフ、カルポー
アドルフオ、ローザバール
カルロス、フローレッズ
アンソール
エド、ダルマー
エス、ウオルポール
エイチ、ポックストン、フオルマン
シー、エー、キング
エイチ、エム、キブレ
ジョン、ガヴアン、ダッフィー
ウイリアム、ホワイト

第4643号

南亞弗利加大不列顛殖民地	（エス、アール、ブレンチスペンサー、トッド）
希臘	エド、ホウーン
ガテマラ	ギー、ノーヴェラ
ハイチ共和國	ギー、エヌ、レゼー
布哇共和國	チエボート
洪昌利	（ピエール、ド、サライゼー、ド、ヘンニュー）
伊太利	（エー、キアラヂアエー、セー、セー、ヴアンシー）
日本	（小松謙次郎湯川寛吉）
リベリア共和國	チヤーレス、ホール、アダムス
歷山堡	ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴェエン
墨西哥	（ア、エム、シヤヴェーイー、ガルフイアス）
滿得涅各羅	（エム、ザバタ、ヴエラドクトル、ノイバウエルハッペル、ゲルスチーブラル）
那威	ヂアシュペ、ヘイエルダアール
オランジュ自由國	ジョン、ステワート
パラグー	（ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴェエンヴアン、デル、ヴェエン）
和蘭	ジョース、ギー、ベルク
和蘭殖民地	アルベルト、フヴルコン
白露	（ミルザ、アリナギー、カアンミュストシヤリュール、ヴエザレーサント、チルゾー）
波斯	セー、キルー
葡萄牙及葡萄牙殖民地	（エル、ブレダセヴアスチアノーフ）
羅馬尼	ピュール、ド、サライ
露西亞	（ゼー、ド、ヘンニューゼー、ド、ヘンニュー）
塞爾維	アイザアーク、タウンセンド、スミス
暹羅王國	（アイザアーク、ヴアン、アルフエンエフ、アシュ、シュリテルン）
南亞弗利加共和國	
瑞典	
瑞西	（ヂー、ベー、ピオダーア、ステーグルセー、デレツセルト）
突尼斯攝政國	チエボート
土耳古	（ムースタフアア、ブアリー）
ウルグー	ブリユデンシオ、ド、ミュルギオンド
ベネズエラ合衆國	（ジョゼー、アンドラードアルジアンドロー、イバラー）

朕明治三十年六月十五日華盛頓ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ノ記名調印シタル郵便爲替事務約定ヲ批准シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十一年十二月十九日

內閣總理大臣　侯爵山縣有朋
外務大臣　子爵青木周藏
遞信大臣　子爵芳川顯正

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞然的香共和國、埃地利洪昌利、白耳義、ボスニー、ヘルセゴヴヰヌ、伯西兒、勃爾瓦利、智利、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、佛蘭西、希臘、「ガテマラ」、伊太利、日本、「リベリア」共和國、歷山堡、那威、和蘭、和蘭殖民地、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、塞爾維、暹羅王國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳古及「ウルグー」ノ間ニ締結セル郵便爲替事務約定」下ニ署名スル前揭各國政府ノ全權委員ハ郵便本條約第十九條ニ據リ更ニ批准ヲ受クヘキモノトシテ協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條

郵便爲替締盟國中其ノ郵政廳ニ於テ互ニ郵便爲替業務ノ開設ヲ承諾シタル諸國ノ間ニ郵便爲替ノ方法ニ依リ金員ヲ交換スルハ本約定ノ諸條款ニ準據スヘシ

第二條

一　爲替金額ハ正金ニテ差出人ヨリ受領シ受取人ニ拂渡スヲ通則トス然レトモ各郵政廳ハ其ノ國內ニ法律上通用スル紙幣ヲ以テ爲替金受拂ニ充用スルコトヲ得但シ相場上差額ヲ生スルトキハ其ノ差額ヲ算入スヘキモノトス

二　爲替一口ノ金額ハ正貨一千「フランク」若ハ之ニ對スル各國貨幣ノ最近額ヲ超過スヘカラス

然レトモ現ニ一千「フランク」ヲ最高額ト爲スコト能ハサル郵政廳ハ五百「フランク」若ハ之ニ對スル各國貨幣ノ最近額ヲ最高額ト定ムルコトヲ得

三　各爲替金額ハ關係郵政廳ノ間ニ特殊ノ約定アルモノヲ除キ其ノ他ハ拂渡國ノ正貨ヲ以テ爲替券面ニ之ヲ記載スヘシ振出國郵政廳ハ時宜ニ依リ自國ノ貨幣ヲ拂渡國ノ正貨ニ換算スヘキ割合ヲ定ムヘシ

振出國及拂渡國ニ於テ其ノ貨幣ノ制度ヲ同フスルトキハ振出國ノ郵政廳ハ時宜ニ依リ前段ト同シク差出人ヨリ受領スヘキ相場額ヲ定ムヘシ

四　締盟各國ハ其ノ領地內ニ於テ締盟ノ他國ヨリ到達セル郵便爲替ノ所有權ヲ裏書ノ方法ニ依リ讓渡ヲ許可スルノ權利ヲ有ス

第三條

一　前條ニ據リ送付スル各爲替ニ對シ差出人ヨリ徵收スヘキ爲替料ハ爲替金額一百「フランク」ヲ超過セサル分ニ對シテハ二十五「フランク」或ハ其ノ端數ニ付二十五「サンチーム」又一百「フランク」ヲ超過スル分ニ對シテハ五十「フランク」或ハ其ノ端數ニ付二十五「サンチーム」ト各國ノ貨幣ニシテ端數ヲ生スルトキハ全數ニ切上ケ之ト相當ナル金額トス

二　郵便事務ニ關シ諸郵政廳ノ間又ハ其ノ所轄諸郵便局ノ間ニ交換スル事務用爲替ハ總テ其ノ爲替料ヲ免除スヘシ

三　振出國郵政廳ハ事務用爲替ヲ除キ拂渡國郵政廳ニ對シ手數料トシテ爲替金額一百「フランク」ヲ超過セサル分ニ對シテハ其ノ二百分ノ一ヲ又一百「フランク」ヲ超過スル分ニ對シテハ四百分ノ一ヲ支拂フヘシ

本約定ニ加盟セル一國ト加盟セサル一國トノ間ニ加盟セル他國ノ媒介ニ依リ交換スル爲替ニ付テハ媒介郵政廳ノ利益ノ爲ニ附加手數料ヲ徵收スルコトヲ得此ノ手數料ハ豫メ爲替券面金額ヨリ引去リ加盟セサル國ノ分前ニ充ツルモノトス

四　郵便爲替券及券面ニ記載スヘキ受取書竝ニ差出人ニ交付スル領收證ニ付テハ本條第一項ニ依リ徵收スル爲替料ノ外何等ノ爲替料或ハ手數料ヲ差出人若ハ受取人ヨリ徵收スルコトヲ得ス但シ時宜ニ依リ受取人ノ住所ニ就キ拂渡ヲ爲ス爲配達料及前第三項ニ定ムル附加手數料ヲ徵收スルハ此ノ限ニアラス

五　郵便爲替ノ差出人振出國ニ於テ書留郵便物ノ到達證ニ對シ徵收スル手數料同額ナル一定ノ料金ヲ豫メ支拂フトキハ爲替金拂渡ノ通知書ヲ受クルコトヲ得但シ此ノ料金ハ振出國郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

六　郵便爲替ノ差出人ハ未タ受取人ニ於テ爲替券若ハ爲替金ノ交付ヲ受ケサル間ハ郵便本條約第九條ニ依リ通常郵便物ニ關シ定ムル規則及特例ニ準據シ其ノ取戻若ハ其ノ名宛ヲ變更スルコトヲ得

七　又差出人ハ前記條約第十三條ニ定ムル規則ニ準據シ爲替到著ノ後直ニ特別ノ配達人ヲ以テ受取人ノ住所ニ就キ爲替金拂渡ノ請求ヲ爲スコトヲ得

八　然レトモ名宛國郵政廳ハ其ノ內地ノ規則ニ依リ金員ノ代リニ爲替到著ノ報知書若ハ爲替券ヲ別配達ニテ送付スルコトヲ得

第四條

一　郵便爲替ハ官設電線ニ依リ連通スル諸國郵政廳又ハ該爲替ノ爲私設電線ノ使用ヲ承諾スル諸郵政廳ノ間ニ於テハ電信爲替ト稱ス

二　電信爲替ハ通常電報ト均シク且之ト同一ナル條件ニ據リ至急、返信料前納、照校及受信報知ノ手數ヲ竝ニ萬國電信ノ連通セサル地方ニ宛ツルモノナルトキハ郵便配達若ハ別配達ノ手數ヲ經ルコトヲ得ヘク又郵便ニ依リ送付シ差出人ニ交付スヘキ拂渡通知書ヲ請求スルコトヲ得

三　電信爲替ノ差出人ハ相當ノ電信料ヲ納付スルトキハ成規ノ爲替式紙ニ受取人ニ對スル通信ヲ附記スルコトヲ得

電信爲替ノ差出人ハ左ノ料金ヲ拂フヘシ

甲　郵便爲替料又拂渡通知書ヲ請求スルトキハ其ノ一定ノ手數料

乙　電信料

四　電信爲替ハ本條ニ定ムル料金若ハ萬國電信規則ニ準據シテ徵收スルモノノ外之ニ對シ何等ノ料金ヲ徵收セサルヘシ

第五條

一　通常爲替ハ受取人其ノ住居ヲ移轉セシトキハ本約定ニ加盟セル諸國ノ一國ヨリ他ノ一國ヘ宛テ再發スルコトヲ得新名宛國ニ於テ最初ノ名宛國ト貨幣ノ制度ヲ異ニスルトキハ該爲替金額ハ最初ノ名宛國ヨリ新名宛國ニ振宛ツルノ爲替ニ對シ定メタル割合ニ從ヒ再發郵便局ニ於テ新名宛國ノ貨幣ニ換算スヘシ右再發ノ爲特ニ爲替料ヲ徵收セス但シ振出國ト最初ノ名宛國トノ間ニ締結セル特殊ノ約定ニ依リ徵收スル爲替料ニシテ本約定第三條ニ定ムル料金ヨリ少額ナルトキト雖新名宛國ハ最初ヨリ自國ニ振宛テタル爲替ニ對シ受收スヘキ爲替料ノ分前ヲ其ノ所得トシテ收入スヘシ

二　電信爲替ハ通常爲替ト同一ノ條件ニ據リ之ヲ新名宛國ヘ再發スルコトヲ得電信爲替ハ關係郵政廳ノ間ニ反對ノ約定アルモノヲ除キ常ニ郵便ヲ以テ之ヲ再發スルモノトス

第六條

一　締盟各國郵政廳ハ施行細則ニ定ムル時期ニ於テ計算書ヲ調製シ各其ノ郵

許可 46|43 3 本文 50

便局ニ於テ拂渡シタル總金額ヲ集記シ互ニ調査確定ノ上特別ノ約定アルモノヲ除キ其ノ他ハ同細則ニ定ムル期限内ニ於テ借越郵政廳ヨリ貸越國ノ金貨ヲ以テ其ノ差額ヲ支拂フヘシ

二　爲替金拂渡ニ用ヰタル貨幣其ノ種類ヲ異ニスルトキハ特別ノ約定アルモノヲ除キ兩國金貨ノ比價ニ依リ少額ノ貸高ヲ多額ノ貸高ト同一ノ貸借ニ換算スヘシ

三　定期間ニ計算上ノ差額ヲ支拂ハサルトキハ期限經過ノ日ヨリ起算シ其ノ支拂ノ日迄其ノ差額ニ利子ヲ付ス此ノ利子ノ割合ハ一箇年五分ト定メ支拂ヲ延滯シタル郵政廳ノ借高トシテ次期ノ計算書ニ記入スヘシ

第七條

一　郵便爲替金額ハ受取人又ハ其ノ代理人ニ正當ニ之ヲ拂渡ストキ迄差出人ニ對シ保證スヘキモノトス

二　各郵政廳ニ於テ受取リタル郵便爲替金ハ振出國ノ法律規則ヲ以テ定メタル期限内ニ其ノ權利者ヨリ請求ナキトキハ振出郵政廳ノ所得ニ歸スルモノトス

三　然レトモ權限ヲ有セサル者ニ爲替金ヲ拂渡シタルコトニ關シ要求ヲ爲スコトヲ得ルハ該爲替ノ通常效力滿期ノ日ヨリ起算シ一箇年以内トス此ノ期間ヲ經過シタル後ハ郵政廳ハ不正ノ受取書ニ對スル拂渡ニ付責任ヲ免カルルモノトス

第八條

本約定ハ締盟各國カ萬國郵便爲替事務ヲ改良スルノ目的ヲ以テ特殊ノ約定ヲ保持シ若ハ締結シ或ハ特別ノ聯合ヲ保持シ若ハ開設スルノ權利ヲ辯束スルコトナシ

第九條

各郵政廳ハ萬國郵便爲替事務ヲ停止スルヲ至當ナリトスル非常ノ場合ニ於テハ其ノ全部若ハ一部ヲ一時停止スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ速ニ又必要ナルトキハ電報ヲ以テ關係郵政廳ヘ報知スヘシ

第十條

此ノ約定ニ未タ加盟セサル聯合諸國ハ其ノ請求ニ依リ且郵便本條約第二十四條ニ規定スル萬國郵便聯合加盟ノ手續ニ從ヒ加入スルコトヲ得

第十一條

締盟各國郵政廳ハ前記ノ諸條款ニ據リ履行スル爲替ノ受拂局ヲ指定シ爲替ノ方式及爲替送付ノ方法竝ニ第六條ニ記載スル計算ノ方式其ノ他本約定ノ施行ヲ確實ニスル爲ニ必要ナル手續細目ヲ定ムヘシ

第十二條

一　締盟各國郵政廳ハ郵便本條約第二十五條ニ記載スル會議ノ時期ニ至ラサルモ萬國郵便聯合總理局ヲ經テ郵便爲替事務ニ關スル發議ヲ其ノ他ノ郵政廳ニ提出スルノ權利ヲ有ス

發議ハ之ヲ提出セル郵政廳ヲ除キ少クトモ二箇ノ郵政廳ノ贊成ヲ得ルニアラサレハ之ヲ討議ニ付スルコトヲ得ス萬國郵便聯合總理局ニ於テ發議ト同時ニ所定ノ贊成數ヲ受領セサルトキハ之ヲ討議ニ付スルノ手續ヲ爲ササルモノトス

二　總テ發議ハ郵便本條約第二十六條第二項ニ定ムル方法ニ準據スヘシ

三　發議ハ左ノ同意ヲ得ルニアラサレハ實施スルコトヲ得ス

第一　本約定ニ新條款ヲ追加シ又ハ本條及第一條第二條第三條第四條第六條竝ニ第十三條ノ諸條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國全體ノ同意

第二　前記ノ諸條款ヲ除キ其ノ他ノ條款ヲ修正セムトスルトキハ投票國三分ノ二以上ノ同意

第三　本約定ノ解釋ニ關スル異見ヲ生スル場合ハ此ノ限ニアラス

四　有效ノ決議ハ郵便本條約第二十六條ニ記載スル方式ニ從ヒ第一及第二ノ場合ニ於テハ外交上ノ宣言書第三ノ場合ニ於テハ郵政廳ヘノ通知書ヲ以テ確認スヘシ

五　總テ可決セシ修正又ハ決議ハ報知ノ後少クトモ三箇月ヲ經過セサレハ之ヲ實施セス

第十三條

本約定ハ千八百九十九年一月一日ヨリ實施スヘシ

本約定ハ郵便本條約ト同一ノ效力期限ヲ有ス然レトモ各國ハ其ノ政府ヨリ瑞西聯邦政府ヘ一箇年前ニ通知スルトキハ本約定ヨリ退盟スルノ權利ヲ有ス

三　締盟諸國ノ政府若ハ郵政廳ノ間ニ曩ニ締結シタル約束ニシテ第八條ニ記載スル權利ヲ除キ本約定ノ條款ニ牴觸スルモノハ總テ本約定實施ノ日ヨリ廢止スヘシ

四　本約定ハ成ルヘク速ニ批准ヲ受クヘシ此ノ批准書ハ華盛頓ニ於テ交換スルモノトス

右證據トシテ前揭諸國ノ全權委員ハ千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ本約定ニ署名セリ

獨逸及獨逸保護國　フリツチ　ノイマン

中央亞米利加大共和國　エヌ、ボレット、ペラザ

亞然的普共和國　エム、ガルシア、メルー

埃地利　ドクトル、ノイバウエル　ハッペルダル　スチーブラル

白耳義　ステルプュルド　アラムピン

ボスニー、ヘルゼゴヴヰヌ　ドクトル、カムレー

伯西兒　アブオンツーラ、サヴヰエー

勃爾瓦利　イヴ、ストヤノヴヰッチ

智利　エル、エル、イララザヴァール

丁抹及丁抹殖民地　セー、スヴァンドサン

ドミニカ共和國

埃及　イグレック、サバー

佛蘭西　アンソール

希臘　エド、ホウーン

ガテマラ　ヂー、ノーヴエラ

洪昌利　ピエール、ド、サライ

伊太利　セー、ド、ヘンニエー

日本　エー、キアラヂア

リベリア共和國　セー、セーヴアンシー

歷山堡　エー、デルマチー

那威　小松謙次郎

和蘭　湯川寬吉

和蘭殖民地　チャーレス、ホール、アダムス

葡萄牙及葡萄牙殖民地　ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴェエン

羅馬尼　ヂアシユベ、ヘイエルダァール

塞爾維　ハヴエラール代ヴアン、デル、ヴェエン

暹羅王國　ヴアン、デル、ヴェエン

瑞典　ジョース、ヂー、ベルク

瑞西　サント、チルゾー

セー、キルー

エル、ブレダ

ピエール、ド、サライ

セー、ド、ヘンニエー

アイザアーク、タウンセンド、スミス

エフ、アシユ、シユリテルン

ヂー、ベー、ピオダー

ア、ステーグル

セー、デレツセルト

突尼斯攝政國　チエポート　ムースタフア　アブアリー

土耳古　ブリユデンシオ、ド、ミユルギオンド

ウルグー

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本國皇帝（御名）此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕帝國ト各郵便聯合國トノ間ニ於ケル交通ノ利便ヲ企圖シ明治三十年六月十五日華盛頓ニ於テ帝國及各郵便聯合國全權委員ノ記名調印シタル郵便爲替事務約定ノ各條目ヲ親シク閱覽點檢シタルニ善ク朕カ意ニ適シ問然スル所ナキヲ以テ右約定ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百五十八年明治三十一年十二月八日東京宮城ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名國璽

外務大臣　子爵青木周藏

○告示

文部省告示第三百二十八號

本年文部省告示第七十一號ヲ以テ北海道廳管下北見國宗谷郡稚内ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止スル旨告示セシ處今般修繕出來セリ

明治三十一年十二月二十日　文部大臣　伯爵樺山資紀

遞信省告示第三百二十八號

本月二十六日ヨリ豐前國田川郡後藤寺鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル電報別使配達區域ヲ左ノ通改定ス

明治三十一年十二月二十日　遞信大臣　子爵芳川顯正

一電報別使配達區域

田川郡弓削田村大字川宮、奈良、弓削田

伊田村大字伊田ノ内字上伊田、中伊田

猪位金村大字位登、猪國

川崎村大字池尻、川崎、田原

46413
本文

○敍任及辭令

○明治三十一年十二月十九日

任海軍中佐　海軍少佐從六位勳五等　三上　兵吉
任海軍中佐　海軍少佐從六位勳五等　遠羽金三郎
任海軍中佐　海軍少佐從六位勳六等　荘司　義基
任海軍中佐　海軍少佐從六位勳五等　岩下　知克
任海軍中佐　海軍少佐從六位勳六等功五級　小田喜代藏
任海軍軍醫中監　海軍軍醫少監從六位勳六等　中島　彝雄
任海軍軍醫中監　海軍軍醫少監從六位勳六等功五級　關　文之助
任海軍軍醫中監　海軍軍醫少監從六位勳五等　長井　又藏
任海軍水路監　海軍水路正從六位勳五等　岸田吉二郎
任海軍水路監　海軍水路正從六位勳六等　伊東　正助
任海軍大軍醫　海軍中軍醫從七位勳六等　今井外美太郎
陞敍高等官四等　遞信書記官兼遞信省參事官從六位　中谷　弘吉
陞敍高等官四等　鐵道作業局部長正五位勳五等　大屋　權平
陞敍高等官四等　鐵道技師從六位勳五等　佐武　正章
陞敍高等官四等　鐵道技師從六位勳六等　松井　捷悟
陞敍高等官四等　鐵道技師兼遞信技師從六位勳六等　畑　精吉郎
陞敍高等官五等　鐵道技師從六位勳六等　古川坂次郎
陞敍高等官五等　鐵道技師正七位　岸　金三郎
陞敍高等官五等　鐵道技師正七位　堀　三之助
陞敍高等官五等　遞信事務官正七位勳六等　宮山　剛助
陞敍高等官六等　鐵道事務官從七位　矢野　亮一
陞敍高等官六等　鐵道事務官從七位　小林　源藏

鐵道會議議員被仰付

（各通）

英國出張被仰付　內務次官　松平　正直
兒本職　海軍大臣官房　高木東太郎
補獨國公使館附　海軍大軍醫　門倉梅三郎
海軍大主計　佐野廉三郎

（各通）

獨國公使館附海軍中佐　上原伸次郎
非職北海道廳支廳長　林　三子雄
非職奈良縣添上郡長　桐島　胖陽
非職靜岡縣技師　上田　敏郎

（各通）

臺南縣知事　靜瀧　貞
臺中縣知事　木下　周一

依願兒本官（以上十二月十九日內閣）

（各通）

一級俸下賜（十二月十九日內務省）

兒本職補步兵第三聯隊附　東京鎭臺兵站司令部附陸軍二等軍吏　松村文太郎

海軍大學校將校科乙種學生被免

補橋立航海長

海軍大學校將校科乙種學生被免海軍砲術練習所學生被仰付　海軍大尉　大野　仁助
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　山口泰次郎
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　眞田　鶴松
補鎭遠航海長　海軍大尉　岡野富士松
兒本職補海軍兵學校航海術教官兼監事　浪速航海長海軍大尉　金子　潤喜
兒本職補須磨水雷長　橋立航海長海軍大尉　山崎米三郎

海軍大學校將校科乙種學生被免海軍砲術練習所學生被仰付　海軍大尉　平岡　貞一
兒本職補天城分隊長　海軍軍令部出仕海軍大尉　平岡　貞一
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　山中　幹

海軍大學校將校科乙種學生被免海軍砲術練習所學生被仰付　海軍大尉　石井　增喜
兒本職補竹敷要港部第一水雷敷設隊分隊長　臺灣總督府海軍參謀海軍大尉　山岡　豐一
兒本職補竹敷要港部水雷艇隊附　佐世保水雷團水雷艇隊艇長海軍大尉　高木東太郎
英國ニ於テ製造ノ水雷艇不知火回航委員ヲ命ス　海軍大尉　高木東太郎
浪速水雷長兼分隊長海軍大尉　水登　鈰男

兒本職竝兼職補佐世保水雷團水雷艇隊艇長　須磨分隊長兼水雷長海軍大尉　本田　親民
兒本職補須磨分隊長　海門分隊長海軍大尉　原口房太郎
兒本職補鳳翔分隊長　海軍大尉　井上　幸二
兒本職竝兼職　摩耶機關長兼分隊長海軍大機關士　大橋　省
特命被仰付　海軍大機關士　大橋　省
兼補摩耶機關長分隊長　大和機關長兼分隊長海軍大機關士　貞永勘五郎
補竹敷要港部水雷艇隊附　海軍大機關士　黑川巳太郎
八島乘組被免摩耶乘組被仰付　海軍少機關士　居崎　稠雄
兒本職補吳鎭守府醫務部部員　海軍大機關士　山崎兵四郎
佐世保水雷團軍醫長兼佐世保鎭守府醫務部部員　寺島　大浩

兒本職專補佐世保鎭守府醫務部部員　海軍軍醫中監　中島　彝雄
補須賀鎭守府醫務部部員　海軍軍醫中監　關　文之助
補海軍兵學校軍醫長　海軍軍醫中監　長井　又藏
補佐世保水雷團軍醫長　海軍軍醫少監　葦原　復人
兒本職補吉野軍醫長　海軍軍醫少監　田村郁三郎
兒本職補高砂軍醫長　海軍砲術練習所軍醫長兼海軍省軍醫學校教官　若栗　健吉
兒本職竝兼職補佐世保海軍病院附　海軍軍醫大監　野田　眞臣

補東京灣要塞砲兵聯隊附　陸軍三等軍吏　宗片　鎌
賜一等給　陸軍步兵中尉　大築　千里
十一級俸下賜　陸軍技師　上原伸次郎
東京砲兵工廠製造所所員ヲ命ス（以上十二月廿七日陸軍省）
獨國公使館附兼造船監督官兼造兵監督官
兒兼職補造船監督官兼造兵監督官　海軍中佐　岸　榮太郎
歸朝被仰付　海軍中佐　上原伸次郎
補吳鎭守府測器庫主管　吳鎭守府海軍中佐　室田　習三
兒本職補吳鎭守府海岸望樓監督官　八島航海長兼常備艦隊航海長海軍中佐　川合　昌吾
兒兼職　吳鎭守府參謀兼海岸望樓監督官海軍中佐　宇敷甲子郎
兒本職補常備艦隊航海長　富士航海長海軍中佐　石橋　甫
補佐世保海兵團副長　海軍中佐　三上　兵吉
補富士航海長　海軍中佐　淺羽金三郎
兒本職　橫須賀鎭守府軍港部部員海軍少佐　本山　丈三
待命被仰付　天城分隊長海軍少佐　本山　丈三
兒本職補橫須賀鎭守府軍港部部員　海軍少佐　田口　三平
獨國留學被免　海軍少佐　林　三子雄
兼補造船監督官造兵監督官　獨國公使館附海軍少佐　林　三子雄
海軍砲術練習所教官兼海軍技術會議議員如故
兒本職補海軍大學校教官　海軍技術會議議員　山屋　他人
兒本職補海軍兵學校運用術教官兼監事　鐵道航海長海軍少佐　茶山　豐也
補竹敷要港部水雷艇隊艇長　海軍少佐　笠間　直
海軍大學校將校科甲種學生被免　海軍少佐　松村　龍雄
補常備艦隊參謀　海軍少佐　和田垣孝太郎
海軍大學校將校科甲種學生被免　海軍少佐　鈴木貫太郎
補海軍大學校將校科甲種學生被免　海軍少佐　鈴木貫太郎
補海軍軍令部第一局局員兼海軍省軍務局軍事課課僚　海軍少將　一條　實輝
兒本職竝兼職補橫須賀海兵團徵募官　海軍少佐　廣瀨順太郎
補龍田水雷長兼分隊長　海軍大尉　竹下　勇
補海軍大學校將校科甲種學生被免　海軍大尉　竹下　勇
補海軍砲術練習所教官　海軍大尉　岡田　啓介
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　岡田　啓介
補海軍水雷術練習所教官　海軍大尉　堀內權三郎
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　堀內權三郎
補高砂航海長　海軍大尉　川浪　安勝
海軍大學校將校科乙種學生被免　海軍大尉　川浪　安勝
補浪速水雷長兼分隊長　海軍大尉　川浪　安勝

兒本職補海軍砲術練習所軍醫長　橫須賀海軍病院附　海軍軍醫少監　清原　眞劍
兒兼吳鎭守府醫務部部員　吳海軍病院附兼吳鎭守府醫務部軍醫少監　淺井勝之助
橫須賀海軍造船廠軍醫長兼橫須賀鎭守府醫務部部員海軍軍醫少監　羽太　伊之
兒兼職補海軍機關學校軍醫長　橫須賀海軍病院附海軍軍醫少監　山下　晉
兒本職補千代田軍醫長　海軍軍醫大尉　辨治郎
兒八島乘組橫須賀海軍病院附　海軍軍醫少監　宏
英國留學被免　海軍大軍醫　臼井

補東京海軍造兵廠軍醫長兼海軍省醫務局第一課課僚海軍軍醫學校教官　小林固太郎
補佐世保海軍病院附　海軍大軍醫　小林固太郎
補海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　次郎
補武藏軍醫長　海軍大軍醫　鈴木　次郎
兒本職　佐世保水雷團馬公水雷敷設隊附海軍大軍醫　木下林之助
海軍軍醫學校學生被仰付　海軍大軍醫　木下林之助
兒本職　操江軍醫長海軍大軍醫　立花保太郎
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　立花保太郎
兒本職　大島軍醫長海軍大軍醫　白井　麟
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　白井　麟
兒本職　武藏軍醫長海軍大軍醫　阪元　重雅
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　西　勇雄
兒本職　海軍大軍醫　和田八千穗
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　和田八千穗
兒本職　海軍大軍醫　積地　君八
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　吉河爲久藏
兒本職　海門軍醫長海軍大軍醫　吉河爲久藏
海軍軍醫學校學生被仰付　海軍大軍醫　田代鼎吉郎
兒本職　海軍大軍醫　田代鼎吉郎
海軍軍醫學校學生被仰付　海軍大軍醫　平野　守成
兒本職　海軍大軍醫　平野　守成
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　小林愛次郎
補摩耶軍醫長　海軍大軍醫　小林愛次郎
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　秋田松二郎
補操江軍醫長　海軍大軍醫　秋田松二郎
海軍軍醫學校學生被免　海軍大軍醫　門倉梅三郎
補海門軍醫長　海軍大軍醫　門倉梅三郎
浪速乘組被免　海軍軍醫大　今井外美太郎
英國ニ於テ製造ノ水雷艇不知火回航委員ヲ命ス　海軍中軍醫　早川傳三郎
兒本職　橫須賀海兵團附　海軍中軍醫　竹內　延章
兒本職補鎭遠乘組被仰付　吳水雷團附

本文 5 6 4 3 4 6 9

兎本職浪速乘組被仰付　佐世保海軍病院附海軍中軍醫　一　千一
兼補呉水雷團附　呉海兵團附海軍少軍醫　長岡秀四郎
海軍水雷術練習所主計長海軍大主計　川口　秀武
兎本職補横須賀鎭守府經理部第二課課員
兎本職補海軍水雷術練習所主計長　千代田主計長海軍大主計　有田銀次郎
兎本職補天龍主計長　比叡主計長海軍大主計　中村鎗太郎
兎本職補比叡主計長　天龍主計長海軍大主計　朝山　益雄
兎本職　橫須賀鎭守府經理部第二課課員海軍大主計　古川　五郎
英國ニ於テ製造ノ水雷艇不知火回航委員ヲ命ス　海軍大主計　島村忠次郎
八島乘組被免　海軍中主計　畑中泰次郎
待命被仰付　海軍中主計　桑島　敬直
吉野乘組被免比叡乘組被仰付　海軍少主計　續木篤次郎
橋立乘組被免八島乘組被仰付　海軍少主計　西塔　晃
豐橋乘組被免千代田乘組被仰付　海軍少主計　齋藤芳太郎
金剛乘組被免吉野乘組被仰付　海軍少主計　水下　邦道
千代田乘組被免橋立乘組被仰付（以上十九日海軍省）　海軍少主計　生島　稠
補大審院檢事　長崎控訴院檢事檢事　出浦　力雄
補大審院檢事　廣島地方裁判所檢事正檢事　草野　宣隆
補松本區裁判所判事　小倉區裁判所檢事檢事　福岡　豐和
補松本區裁判所監督ヲ命ス　松本區裁判所判事檢事　福岡　豐和
補新發田區裁判所判事　相川區裁判所判事檢事　桐生　吉英
補新發田區裁判所監督ヲ命ス　新發田區裁判所判事檢事　桐生　吉英
補函館控訴院檢事　弘前區裁判所檢事檢事　山井　秀規
補大阪控訴院檢事　小倉區裁判所檢事檢事　堀池　常作
補小倉區裁判所判事　上田區裁判所判事檢事　石川文之助
小倉區裁判所監督ヲ命ス　小倉區裁判所判事檢事　石川文之助
補弘前區裁判所檢事　青森地方裁判所檢事檢事　中根　直
補高松地方裁判所檢事　岡山地方裁判所檢事檢事　岡田侃次郎
補靜岡地方裁判所判事　東京地方裁判所檢事檢事　瀨端善一郎
豫審掛ヲ命ス　靜岡地方裁判所判事　瀨端善一郎
補高崎區裁判所判事　東京地方裁判所判事　額賀　鐸
豫審掛ヲ命ス　高崎區裁判所判事檢事　額賀　鐸
補相川區裁判所判事　下田區裁判所判事檢事　菊池　篤行
相川區裁判所監督ヲ命ス　相川區裁判所判事檢事　菊池　篤行
補豆田區裁判所監督ヲ命ス　水引區裁判所判事檢事　佐々木　愼
豆田區裁判所監督ヲ命ス　豆田區裁判所判事檢事　佐々木　愼
補山田區裁判所判事　名古屋地方裁判所判事檢事　山田　豐
山田區裁判所監督ヲ命ス　山田區裁判所判事檢事　山田　豐
補下田區裁判所判事　吉原區裁判所判事檢事　中山　克忠
下田區裁判所監督ヲ命ス　下田區裁判所判事檢事　中山　克忠
豫審掛ヲ命ス　沼田區裁判所判事檢事　池内　進六
補釧路區裁判所判事　下田區裁判所判事檢事　池内　進六

九級俸下賜　平區裁判所判事　鷹野銳太郎
退職ヲ命ス（以上十九日同）　東京控訴院檢事檢事　中村　正彥
七級俸下賜　文部書記官　桑原　八司
十級俸下賜　文部省參事官　赤司鷹一郎
出京ヲ命ス（以上十七日文部省）　第二高等學校長　菊地謙二郎
東京工業學校附屬職工徒弟學校主事兼東京工業學校教授　中川謙二郎
本月七日東京工業學校附屬職工徒弟學校ニ於テ出火シ建物及書籍器械ヲ燒失シタルハ管理不行屆ノ致ス所仍テ年俸二十四分ノ一ノ罰俸ヲ科ス　東京工業學校長　阪田　貞一
本月七日東京工業學校附屬職工徒弟學校ニ於テ出火シ建物等ヲ燒失シタルハ監督不行屆ノ致ス所職務上不都合ニ付譴責ス（以上十九日同）　逓信技師　久野　知義
北越鐵道株式會社鐵道北條長岡間工事監査ヲ命ス（十七日逓信省）　村山　成美
三級上俸下賜　宮崎縣師範學校教諭　宮崎縣師範學校教諭　村田宇一郎
三級下俸下賜（以上十七日宮崎縣）

○宮廷錄事

○行幸　天皇陛下ハ豫テ仰出サレシ如ク昨十九日午前九時三十分御出門海軍大學校ヘ行幸正午十二時還幸アラセラレタリ
○東宮行啓　皇太子殿下ハ本月十七日午前七時三十分御出門千葉縣習志野ヘ行啓遙兵場ニ於テ御親閱ノ後三時三十五分還御アラセラレタリ
○勅使差遣　一昨十八日露西亞國皇帝陛下ノ命名祝日ニ附キ午前十時三十分祝賀ノ爲メ勅使トシテ式部長男爵三宮義胤ヲ同國公使館ヘ差遣サレタリ

○彙報

○官廳事項

○官吏發著
曩ニ千葉縣習志野御獵場ヘ出張ノ山口主獵局長、米田片岡兩主獵官及主獵官貴志一郎同子爵織田信親同子爵伊集院兼知ハ一昨十八日朝モ歸京セリ
曩ニ長野、新潟兩縣ヘ出張ノ專賣局鑑定官矢部規矩治ハ本月十五日歸京セリ

列車走行哩程　表中ム印ハ減

東海道線

種別	線路	前年度比較增減	本年度	備越線 前年度比較增減	本年度
旅客列車走行哩程	一、九〇九、一五四 哩	二一〇、三〇七 ム	一、九〇九、〇八八 哩	一、九七六哩	一、九七六哩
貨物列車走行哩程	一、〇六二、七〇八	五三、二六八 ム	二、四四八、八三六	三六、四九三 ム	三六、四九三
混合列車走行哩程	一、二六六、一五八	四二、四四一 ム	三〇九、五九二	六五、七二八 ム	六五、七二八
計	四、二三七、二一〇	二七、六三五 ム	二、四六四、一〇九	五五、七一八 ム	五五、七一八

奥羽線

種別	線路	前年度比較增減	本年度	北陸線 前年度比較增減	本年度	計 前年度比較增減	本年度
旅客列車走行哩程	一、八一八、八六 哩	六、七九七	一、八一二、〇七 哩	九三、三九七 ム	一、九〇五、四七八 哩	一五六、六七四 ム	一、七四九、八〇四
貨物列車走行哩程	一、〇九八、二七	九〇、九二八 ム	一、一八八、一五五	五五、八五七 ム	二、二八六、八三三	一、三五、九九五 ム	二、一七三、〇七八
混合列車走行哩程	一、二六六、一五八	四六、七四三 ム	一、三一四、四八	三〇、九九九 ム	三〇九、五九二	六五、七二八 ム	二四四、六〇九
計	四、二三七、二一〇	二四六、六三八 ム	二、四六四、一〇九	一八一、七〇一 ム	五五、七一八	五五、七一八 ム	二、一七三、〇七八

曩ニ山形地方ヘ出張ノ歩兵第十六旅團長春田陸軍少將、天鹽地方ヘ出張ノ第七師團參謀長陸軍歩兵大佐松永正敏ハ本月十一日、同上ノ第七師團監督部長陸軍三等監督上田五郎ハ同十三日、敎導團野戰砲兵射擊學校ヘ出張ノ東京陸軍兵器本廠長陸軍砲兵大佐押上森藏ハ同十六日、下總四ツ街道地方ヘ出張ノ野戰砲兵監柴野陸軍少將ハ一昨十八日歸モ歸著ス中部都督部參謀長鮫島陸軍少將ハ地理實査トシテ愛知縣下ニ向ヒ本月十五日出發セリ
曩ニ海軍兵學校卒業證書授與式列席ノタメ江田島ヘ出張ノ海軍省軍務局長諸岡海軍少將ハ本月十七日歸京セリ
大阪地方裁判所長河村善益ハ本月十二日著任セリ
高知縣書記官笠井信一ハ本月十六日、志波石川縣知事、菊池大阪府知事、鳥取縣書記官鈴木隆ハ同十七日、勝間田新潟縣知事ハ一昨十八日歸モ上京セリ

○鐵道作業局事務報告（昨十九日ノ報）

運輸事項

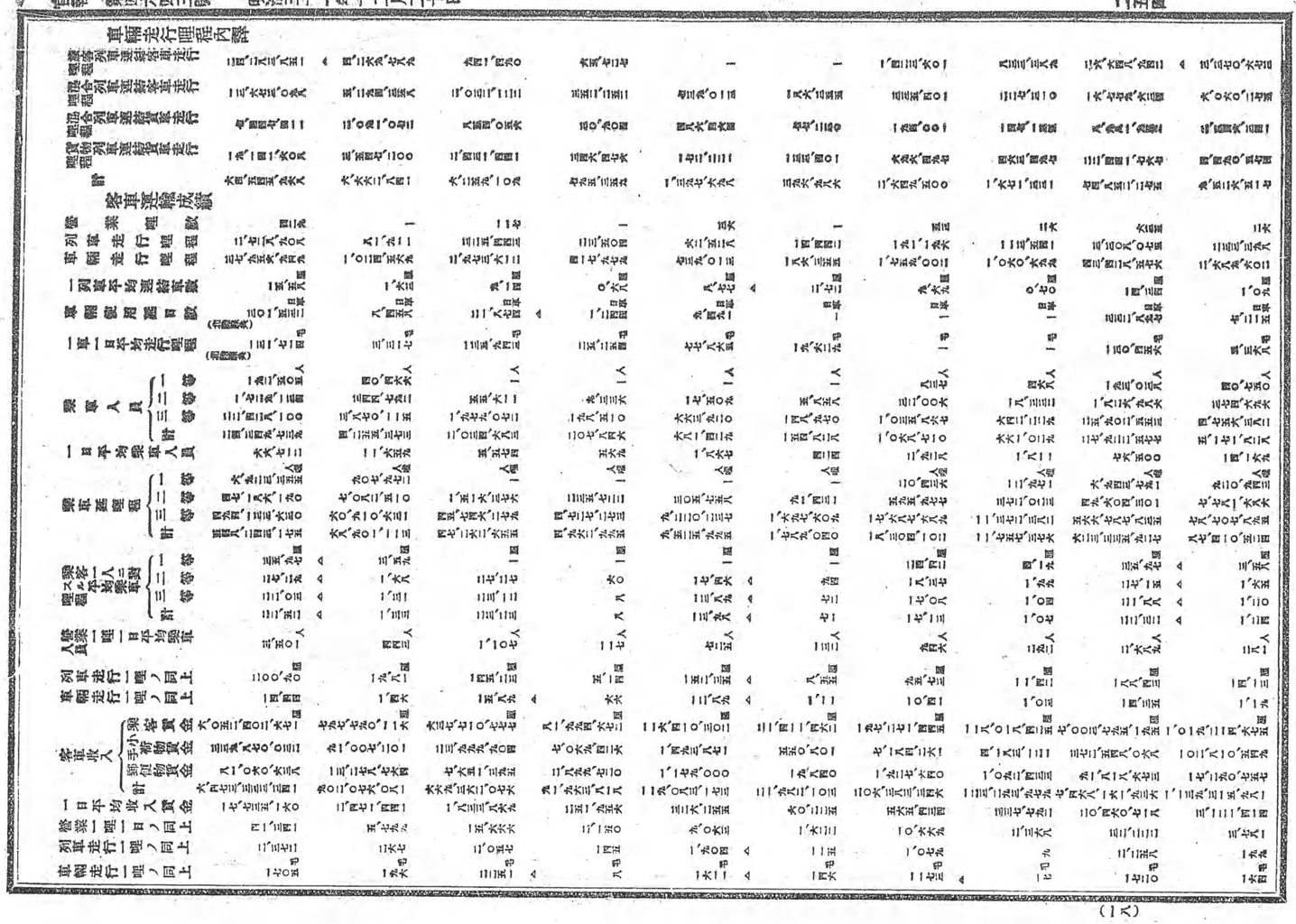
東海道線　東海道線ハ本年度秋季ニ於テ水害ノ爲メ、築リ線路ノ害シ運輸ノ妨ケタルコト實ニ少カラサリシモ努テ列車發着ノ度數及運轉ノ速力ヲ增加シタル等ノ結果前年度ニ比スレハ乘客ニ於テ二割一分二厘貨物ニ於テ二割三分六厘ヲ增加セリ

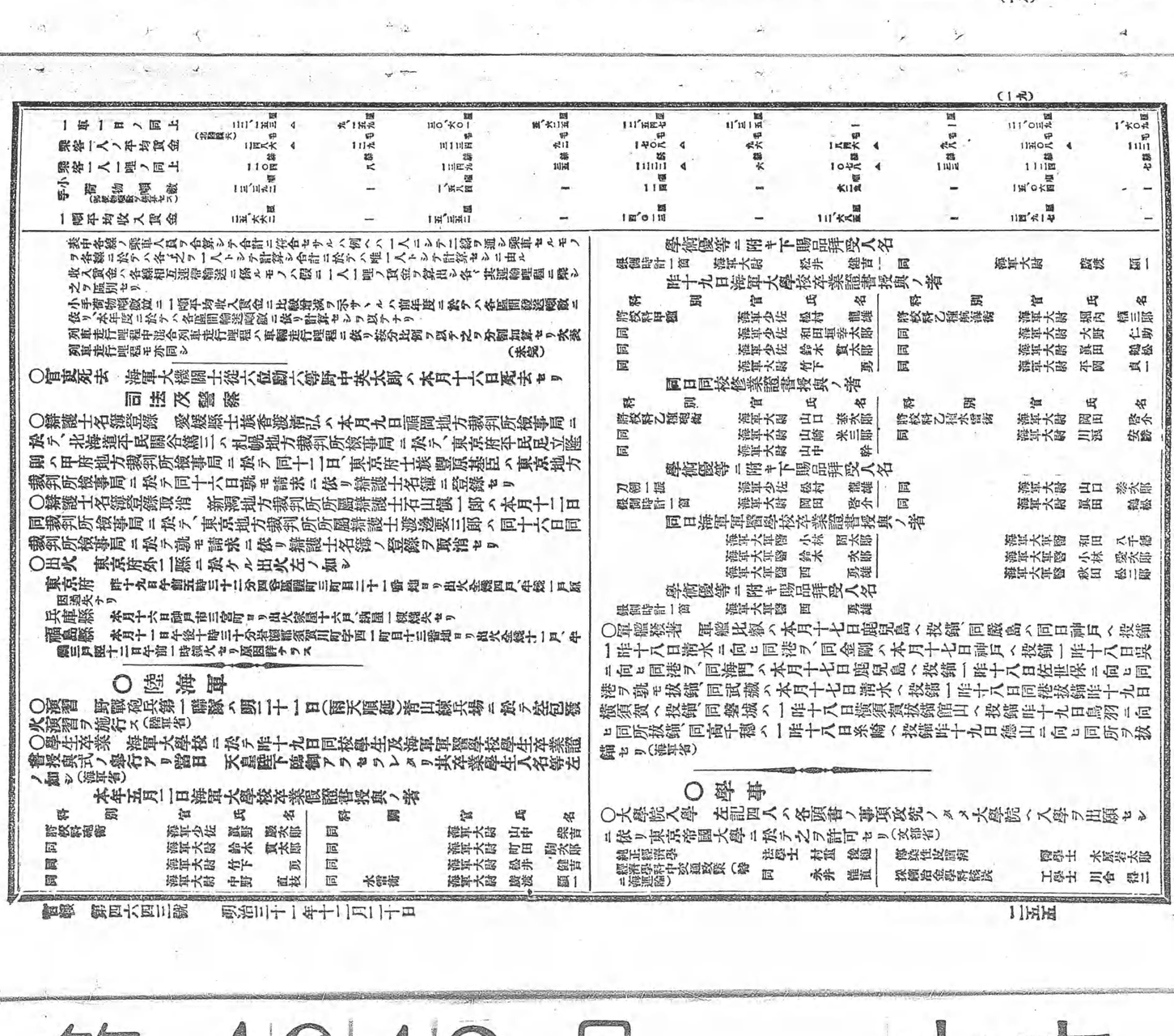
北陸線　北陸線ハ前年度七月ニ於テ敦賀、疋田間ノ營業ヲ開始シ本年度ニ於テモ亦九月ヨリ疋田、小松間三十哩三鎖ヲ延長シ該區間ノ營業ヲ開始セシヲ以テ前年度ニ對シ正確ナル比較ヲ見ル能ハス殊ニ秋季ノ水害少カラサリシノミナラス冬季ニ於テ近年稀有ノ大雪ニ遭遇シ列車ノ運轉ヲ阻礙セラレタルコト一再ニ止ラス隧ニ一時不振ニ傾キシ形勢ヲ囘シタルモ幸ニ他線ニ比シ輕ク增進ノ歩合ヲ同シクセリ

信越線　信越線ハ前年度ニ比シ乘客ニ於テ一割一分四厘ヲ貨物ニ於テ一割三分二厘ヲ增加セシト雖モ尙ホ實際ノ需要ニ滿足ヲ與ヘタリト云フヲ得サル カ殊ニ直江津附近ニ於ケル水害ト降雪トニ因リテ甚シキ妨害ヲ與ヘラレ加之機關車缺乏ノタメ修繕ノ完カラサルモノヲ使用スルノ已ムヲ得サルニ出テタルノ結果運轉中機關車ニ故障ヲ生シ或ハ途中蒸氣缺乏等ノタメ運行力ヲ失シ又ハ定數ノ牽引ニ堪ヘサルモノアリ依テ或ハ特ニ應援車ヲ發シ或ハ行違ヲ變更スル等殆ト寧日ナク亦定期ノ運轉ヲ企劃スルモ終ニ極端ニ達セシニハ甚シキ遲延ヲ來シ遂ニ運轉ヲ休止セサルヘカラサルニ至ル等實ニ其困難名狀スヘカラサルモノアリ斯ノ如キ狀況ナリシヲ以テ勢供給ハ其需要ヲ滿スヲ能ハサリシナリ

奥羽線　奥羽線ハ前年度ニ比シ著シキ旺盛ヲ顯セリ卽チ乘客ニ於テ二割九分四厘貨物ニ於テ四割五分七厘ノ增加ヲ見ルニ要スルニ生產發達ト鐵道便ヲ利用スルモノ年ニ月ニ漸ク多キヲ加ヘ來ルノ結果ニ外ナラサルヘシ
以上ハ各線路ニ於ケル概況ニシテ其詳細左ノ如シ

本文 4643 号 25





第 4643 号　本文

○出版手續等略許可雜誌左ノ如シ

出版法第十條ニ依リ出版手續ヲ略ヲ許可スベキ雜誌

月許可日	雜誌名	發行所	發行者	發行地
二三	芳園雜誌（月三）	雜誌發行所	松本順吉	東京
二三	雜誌基督（月三）	雜誌發行所	植村正久	同
二三	實業雜誌（月三）	雜誌發行所	增田義一	同
二三	探實雜誌（月三）	雜誌發行所	小島烏水	同
二三	氣象月報（月一）	木綿多編山梨縣有小大綿高等農業學校內中央氣象臺	藤原咲平	同
二三	目黒風物（月一）	目黒風物發行所	目黒風物發行者	同
二三	新報（月三）	佐賀縣江北村大字八戸村佐賀縣農會內佐賀縣農會	佐賀縣農會	佐賀
二三	農業新報（月三）	農業新報發行所	農業新報發行者	同
二三	其雜誌（月三）	雜誌發行所	松本順吉	同
二三	雜誌（月三）	雜誌發行所	植村正久	同
二三	雜誌基督（月三）	雜誌發行所	植村正久	同
二三	實業雜誌（月三）	雜誌發行所	增田義一	同
二三	探實雜誌（月三）	雜誌發行所	小島烏水	同
二三	氣象月報（月一）	木綿多編山梨縣有小大綿高等農業學校內中央氣象臺	藤原咲平	同
二三	目黒風物（月一）	目黒風物發行所	目黒風物發行者	同
二三	新報（月三）	佐賀縣江北村大字八戸村佐賀縣農會內佐賀縣農會	佐賀縣農會	佐賀
二三	農業新報（月三）	農業新報發行所	農業新報發行者	同

○帝國博物館來觀人員

本月一日ヨリ同十五日（閉場）マテノ帝國博物館來觀人員十萬八千六百八十人（小兒八千六百八十人）內大人二千五百八十人（學校教員九人生徒三百二十一人）ナリ（宮內省）

○產業

○種牡牛馬檢查ノ關係ル昨三十年種牡牛馬ノ頭數左ノ如シ十呼年三

本九	月	日	農商務省
內二	月	日	農商務省
參十	月	日	農商務省

種牡牛

內國種

縣	五歲未滿			五歲以上			十歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
京都	一	一	二	三	五	八	一	一	二	五	七	一二
大阪	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
兵庫	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
長崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
新潟	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
埼玉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
千葉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
茨城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
栃木	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
群馬	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岩手	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
青森	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
秋田	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山形	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福井	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

外國種

縣	五歲未滿			五歲以上			十歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
京都	三	七	一〇	一	一	二	一	一	二	五	九	一四
大阪	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
兵庫	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
長崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
新潟	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
埼玉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
千葉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
茨城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
栃木	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
群馬	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岩手	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
青森	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
秋田	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山形	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福井	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

雜種

縣	三歲以上			八歲以上			十二歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
京都	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
大阪	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
兵庫	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
長崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
新潟	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
埼玉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
千葉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
茨城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
栃木	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
群馬	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岩手	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
青森	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
秋田	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山形	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福井	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

合計

縣	五歲未滿			五歲以上			十歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
京都	一	一	二	三	五	八	一	一	二	五	七	一二
大阪	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
兵庫	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
長崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
新潟	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
埼玉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
千葉	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
茨城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
栃木	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
群馬	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮城	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岩手	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
青森	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
秋田	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山形	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福井	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

種牡馬

內國種

縣	三歲以上			八歲以上			十二歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
靜岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
三重	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
奈良	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
和歌山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岡山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
島根	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鳥取	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
廣島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山口	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛媛	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
高知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
佐賀	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
熊本	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
大分	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鹿兒島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
沖繩	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

外國種

縣	三歲以上			八歲以上			十二歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
靜岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
三重	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
奈良	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
和歌山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岡山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
島根	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鳥取	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
廣島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山口	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛媛	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
高知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
佐賀	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
熊本	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
大分	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鹿兒島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
沖繩	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

雜種

縣	三歲以上			八歲以上			十二歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
靜岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
三重	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
奈良	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
和歌山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岡山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
島根	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鳥取	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
廣島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山口	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛媛	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
高知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
佐賀	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
熊本	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
大分	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鹿兒島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
沖繩	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

合計

縣	三歲以上			八歲以上			十二歲以上			計		
	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計	素人飼養	寸尺足四	計
靜岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
三重	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
奈良	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
和歌山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
岡山	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
島根	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鳥取	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
廣島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
山口	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
愛媛	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
高知	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
福岡	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
佐賀	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
熊本	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
大分	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
宮崎	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
鹿兒島	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六
沖繩	一	一	二	一	一	二	一	一	二	三	三	六

（備考）埼玉滋賀福島各山ノ四縣ニハ種牡牛ナシ長崎縣外國種ノ中七頭及大分縣外國種ハ朝鮮牛ナリ北海道及沖繩縣ヘハ之ヲ省ク

第 4643 号　本文

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
秋田	—	一九	四七	六六	—	二一	九〇	一一	—	二一
福井	一	—	—	一	—	—	二	二	—	—
石川	一	五	三	一八	—	一	五	六	—	—
富山	—	二	五	七	—	二	五	七	—	—
鳥取	—	—	—	—	—	—	二	二	—	—
島根	二	二	一	五	—	二	六	八	—	二
岡山	一	二	一	四	一	—	一	二	—	—
廣島	四	一	一	六	六	二	—	八	八	—
山口	一	—	—	一	三	—	—	三	—	二
愛媛	二	—	—	二	二二	一	一	一四	三二	—
高知	五	三	一一	一九	二九	一三	一六	五八	四一	一一
福岡	—	—	四	四	—	—	二	二	—	—
大分	—	七八	五四	一三二	—	一〇	四	一四	—	—
佐賀	—	—	一	一	—	—	一	一	—	—
熊本	一四八	六八	二〇	二三六	四九	二八	六	八三	八	六
宮崎	二三	九九	五〇	一七二	—	五七	一三	七〇	—	四
鹿兒島	一三九	七六	一九	二三四	二一七	九六	二〇	三三三	三六	二四
官有	二六	一五	三三	七四	—	—	一	一	—	—
計	七四四	八五〇	一、一六	二、七一〇	四七五	五三五	八一七	一、八二七	一九一	二二九

	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
秋田	四〇	六一	一三八	—	—	一	一	—	—	—
福井	—	—	五	—	—	—	—	—	—	—
石川	二	二	二六	—	—	一	一	—	—	二
富山	一	一	一五	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—
島根	一	三	一六	—	—	—	—	—	—	—
岡山	—	—	六	—	—	—	—	—	—	—
廣島	—	八	二二	—	—	—	—	—	—	—
山口	—	二	六	—	—	—	—	—	—	—
愛媛	—	三二	四八	—	—	—	—	—	—	—
高知	二一	六三	一四〇	二	—	四	六	—	一	三
福岡	一	一	七	—	—	—	—	—	—	—
大分	—	—	一四六	—	—	一	一	—	—	—
佐賀	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—
熊本	四	一八	三三七	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	一	五	二四七	—	—	一	一	—	—	二
鹿兒島	六	六六	六三三	—	—	—	—	—	—	—
官有	—	—	七五	—	—	一〇	一〇	—	—	—
計	三八二	七九二	五、三二九	二	—	四〇	四二	—	一	一六

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
秋田	—	—	—	四	四	五	—	—	四	四
福井	—	—	—	一	一	一	—	—	—	—
石川	二	—	—	—	—	三	—	四	一八	三二
富山	—	—	—	—	—	—	—	—	三	三
鳥取	—	—	—	—	—	—	—	二	四	六
島根	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一
岡山	—	—	—	—	—	—	—	二	一	三
廣島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛媛	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高知	四	—	—	二	二	二一	—	—	一	一
福岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大分	—	—	—	—	—	一	—	一	—	一
佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	—	—	—	—	—	—	三	二	三	八
宮崎	二	—	—	—	—	三	四	三三	四四	八一
鹿兒島	—	—	—	二	二	二	三八	三五	三五	一〇八
官有	—	—	—	一	一	一一	六	一〇	三九	五五
計	一七	—	—	三三	三三	九二	六二	一二四	五〇七	六九三

	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
秋田	—	—	五	五	—	—	一	一	一〇	二五三
福井	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四
石川	一	—	八	九	—	—	—	—	三一	六〇
富山	—	一	—	一	—	—	—	—	四	一九
鳥取	—	—	五	五	—	—	二	二	一五	一五
島根	—	—	一	一	—	—	一	一	三	一九
岡山	—	—	—	一	—	—	—	—	四	一〇
廣島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三
山口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六
愛媛	—	—	一	一	—	—	—	—	一	四九
高知	—	—	三	三	—	—	—	—	四	一五六
福岡	—	—	—	—	—	—	一	一	一	八
大分	—	—	—	—	—	—	—	—	一	一四八
佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二
熊本	二	二	二	六	—	一	—	一	一五	三五二
宮崎	—	七	一二	一九	—	—	五	五	一〇五	三五五
鹿兒島	二四	二七	二八	七九	二	二	二	六	一九三	八二八
官有	—	—	四	四	—	—	—	—	五九	一四五
計	三一	五二	二八一	三六四	三	五	八	八六	一、一四三	六、五六四

（備考）東京、京都、大阪、埼玉、奈良、三重、滋賀、和歌山、德島、香川ノ三府七縣ニハ種牡馬ナシ」秋田縣ニハ本表記載ノ外體尺又ハ年齡不詳ノモノ内國種百七十六頭、外國種二頭、雜種二頭、計百八十頭アルモ算入セス」官有種牡馬ハ農商務省種馬牧場、種馬所ニ飼育スルモノナリ」北海道及沖繩縣ハ之ヲ省ク」三十年總數六千五百六十四頭ヲ二十九年總頭數五千九百四十三ニ比スレハ六百二十一頭ノ增加ナリ

○衛生

〇赤痢患者　本月十八、十九兩日中各地方ヨリ内務省衛生局ニ到達シタル赤痢患者數報告左ノ如シ（内務省）

道府縣	患者	死者	本年初發ヨリノ總數 患者	本年初發ヨリノ總數 死者	縣名	患者	死者	本年初發ヨリノ總數 患者	本年初發ヨリノ總數 死者
北海道	—	—	四〇	一一	愛知	—	—	二、二〇七	四七三
東京	—	二	二、五三六	七〇四	靜岡	一	—	六、六九〇	一、五七〇
京都	二	—	六七七	一七三	山梨	一	—	九、九五一	二、一五三
大阪	一	—	一、一二六	二八八	滋賀	—	—	五二三	一四一
神奈川	—	—	四、二二二	九一五	岐阜	—	—	一、九一七	四七八
兵庫	二	二	二、四五七	七〇四	長野	—	一	八、一四八	一、九五五
長崎	—	—	九六七	二二二	宮城	—	—	八九八	二二三
新潟	三	一	九、八七五	二、四〇〇	福島	—	—	一、六三三	三一四
埼玉（二日分）	二	一	三、六二六	一、一三三	岩手	一	二	一、三八三	三一〇
群馬	—	—	三、八二七	九五九	青森	一	—	七六一	一六三
千葉（五日分）	一七	六	二、四九五	六五三	山形	—	—	五五	九
茨城	—	—	二、七四〇	六八六	秋田（三日分）	一	一	二四五	五二
栃木	—	—	七八六	一六四	福井	—	—	二八七	一〇八
奈良	—	—	二九〇	九五	石川	—	—	四五五	一六八
三重（二日分）	一	—	六三五	一九二	富山	—	—	二二〇	九一
鳥取	—	—	六一六	一五九	高知（三日分）	三	二	五九四	一二六
島根	—	—	二、二二〇	六二六	福岡	—	—	七六八	一三二
岡山	—	—	一、四九三	四三一	大分	—	—	七七三	一九一
廣島	—	—	三、一九〇	七二五	佐賀	—	—	五七二	一四九
山口	—	—	九九八	二一六	熊本	—	—	二、二九一	三九一
和歌山	—	—	六八一	一九三	宮崎（二日分）	三	一	六〇八	九七
德島	—	—	一、五〇〇	四六二	鹿兒島	—	一	一、二一一	二八一
香川	—	—	一、六二五	四七二	沖繩	—	—	六一	一八
愛媛	—	—	八八三	二三五	合計	三九	二〇	九〇、七四六	二二、四一一

〇傳染病患者　東京府外八縣ニ於ケル傳染病患者左ノ如シ

東京府　本月十七日屆出ノ腸窒扶私患者芝區男二人女一人、赤坂區男一人、淺草區女一人、北豐島郡女一人、北多摩郡男一人計七人」實布垤利亞患者芝區男女各〻一人、下谷區男一人、南足立郡男一人、南多摩郡女一人計五人」合計十二人（警視廳）

新潟縣　本月五日ヨリ同十一日ニ至ル一週間ニ屆出ノ實布垤利亞患者三十二人死亡十一人」腸窒扶私患者三十五人死亡十一人（新潟縣）

奈良縣　本月八日ヨリ同十四日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者十三人」實布垤利亞患者二人死亡二人（奈良縣）

滋賀縣　本月十日ヨリ同十六日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者四人」實布垤利亞患者五人死亡三人（滋賀縣）

長野縣　本月五日ヨリ同十一日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者二十五人死亡三人」實布垤利亞患者十五人死亡七人（長野縣）

青森縣　本月五日ヨリ同十一日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者二十三人死亡四人」實布垤利亞患者二十三人死亡七人」痘瘡患者三十八人死亡四人（青森縣）

鳥取縣　本月六日ヨリ同十五日ニ至ル十日間ニ屆出ノ腸窒扶私患者五人死亡二人」實布垤利亞患者五人死亡四人（鳥取縣）

島根縣　本月五日ヨリ同十一日ニ至ル一週間ニ屆出ノ腸窒扶私患者六人死亡二人」實布垤利亞患者一人死亡一人（島根縣）

宮崎縣　本月五日ヨリ同十一日ニ至ル一週間ニ屆出ノ實布垤利亞患者一人（宮崎縣）

〇大阪藥劑師試驗　本年第二回大阪藥劑師試驗ハ學説試驗ヲ去月三十日、本月一日ノ兩日間大阪市北區中ノ島大阪醫學校ニ於テ實地試驗ヲ、本月五日ヨリ同十日ニ至ル六日間同市東區京橋大阪衛生試驗所ニ於テ施行セリ其出願者並ニ及第者、落第者等左ノ如シ（内務省）

出願者總數　八〇（内實地出願者十二人）
内
疾病事故等ニテ闕席ノ者　二（内實地出願者一人）
中途闕席ノ者　一〇（内實地出願者二人）
試驗完了ノ者　五九（内實地出願者九人）
内
及第者　一八（内實地出願者七人）
落第者　四一（内實地出願者二人）
内
學説合格承認證ヲ交付セシ者　三

正誤

本月十七日本欄二一〇頁下段教員免許狀授與ノ項表中靜岡ハ福岡ノ誤植

○帝國議會

○貴族院

〇會議　昨十九日議事日程第六號ノ會議ヲ開キ松本順ノ請暇ヲ許可シ新聞紙條例中改正法律案、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案ハ各〻特別委員（議長指名）ニ付託シ國籍法案ハ第一讀會ヲ了リ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二、第三讀會ヲ開キテ之ヲ可決シ明治二十九年法律第六十三號中改正法律案ハ第二讀會ヲ了リ議事日程ヲ變更シテ第三讀會ヲ開キ之ヲ可決シ水害地方地租特別處分法案ハ特別委員（議長指名）ニ付託シ次テ議事日程ヲ變更シテ明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案（第四號）、明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案（第一號）、明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特追第一號）、明治三十一年度特別會計歲入歲出豫算追加案（特追第二號）、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件（追第一號）審査期限ヲ定ムル件ノ會議ヲ開キ其審査報告期限ヲ孰モ一週間ト議決セリ

〇政府委員出席　松平内務次官、田尻大藏次官、穗積東京帝國大學法科大學教授、梅東京帝國大學法科大學教授、小倉内務省警保局長、長谷川内務省衛生局長、後藤臺灣總督府民政長官、阪谷大藏省主計局長、臺灣總督府事務官祝辰巳、内務書記官森田茂吉、同水野錬太郎ハ昨十九日ノ會議ニ出席セリ

〇委員長報告　昨十九日國籍法案特別委員長子爵谷干城ハ該法案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告セリ

〇議案送付　昨十九日可決シタル左ノ政府提出案ハ卽日之ヲ衆議院ニ送付セリ

國籍法案
明治二十九年法律第六十三號中改正法律案

〇議案受領　昨十九日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案（第四號）
間接國稅犯則者處分法中改正法律案
沖繩縣船稅廢止法律案

〇報告書提出　昨十九日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第一號

〇議員薨去及弔辭　貴族院議員正三位勳六等侯爵中御門經明本月十四日薨去ニ附キ之ヲ弔スルタメ昨十九日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員正三位勳六等侯爵中御門經明君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

〇特別委員選定　昨十九日議長ニ於テ特別委員ヲ左ノ如ク選定セリ

新聞紙條例中改正法律案
伯爵 吉井幸藏　男爵 酒井忠弘　水野遵
子爵 谷干城　男爵 眞田幸世　伊澤修二
加藤弘之　宮田鐵之助　早川周造

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
子爵 内田正學　三好退藏　高木兼寬
子爵 小笠原壽長　長與專齋　飯尾麒太郎
子爵 入江爲守　男爵 紀俊秀　斯波與七郎

水害地方地租特別處分法案
子爵 長岡護美　子爵 丹羽長保　男爵 本多副之
子爵 由利公正　龍手田安定　色部義太夫
子爵 一柳末德　三浦安　廣瀬和育

〇委員長副委員長ノ互選　昨十九日特別委員ニ於テ委員長副委員長ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

華族令中改正ニ關シ貴族院令第八條ニ依リ御諮詢ノ件
委員長 公爵 德川家達　副委員長 子爵 曾我祐準

〇書類配付　昨十九日左ノ書類ヲ各議員ニ配付セリ

明治三十一年度歲入歲出總豫算追加案（第四號）
間接國稅犯則者處分法中改正法律案
沖繩縣船稅廢止法律案
（特送）

第4643号 本文

○委員會　今二十日開會ノ委員會左ノ如シ
華族令中改正ニ關シ貴族院令第八條ニ依リ御諮詢ノ件　午前十時
豫算委員會　同

○衆議院

○會議　昨十九日議事日程ヲ變更シテ明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案（第四號）（政府提出）ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シ間接國税犯則者處分法中改正法律案（政府提出）沖繩縣船税廢止法律案（同上）ハ孰モ讀會ノ順序ヲ省略シテ之ヲ可決シ沖繩縣砂糖買上制度廢止ニ關スル法律案（同上）ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名ニ決シ明治三十年法律第十四號關税定率法中改正法律案（重岡薫五郎外三名提出）ハ委員（議長指名）ニ付託スルニ決シ田畑地價修正法案（木村誓太郎外十名提出）ハ地租條例中改正法律案外一件ノ委員ニ付託スルニ決セリ

○政府委員出席　田尻大藏次官、古市遞信次官、深野内務省地方局長、小倉内務省警保局長、長谷川内務省衛生局長、後藤臺灣總督府民政長官、田邊内務省土木局長、目賀田大藏省主税局長、阪谷大藏省主計局長、久米遞信省通信局長、司法省參事官石渡敏一、大藏書記官若槻禮次郎ハ昨十九日ノ會議ニ出席セリ

○議案提出　政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案（第四號）
明治三十二年度歳入歳出總豫算案竝同年度各特別會計歳入歳出豫算案中修正
又議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
上奏案（安部井磐根、鈴木重遠提出）
實業練習生補助費ニ關スル建議案（井上角五郎、中野武營、利光鶴松、島田三郎提出）

○議案送付　昨十九日本院ニ於テ議決シタル左ノ議案ハ即日貴族院ニ送付セリ
明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案（第四號）
間接國税犯則者處分法中改正法律案
沖繩縣船税廢止法律案

○委員長及理事　委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
官使遺族扶助法中改正法律案
委員長　安川繁成　理事　星野甚右衛門
千葉縣茨城縣境界變更法律案
委員長　大三輪長兵衛　理事　草刈武八郎
噸税法案
委員長　山内吉郎兵衛　理事　佐治幸平
兌換銀行券條例中改正法律案外一件
委員長　井上角五郎　理事　董河理二郎
醫師會法案
委員長　島田三郎　理事　鈴木萬次郎

葉煙草專賣資金會計法中改正法律案
委員長（補闕）　磯部八五郎

○委員選定　議長ニ於テ委員ヲ左ノ如ク選定セリ
北海道國有未開地處分法中改正法律案
飯島正治　下飯坂權三郎　佐藤琢治
秦須川光寶　岡田龍松　廣住久道
加藤政之助　大野龜三郎　横山通英

○議員請暇　昨十九日ヨリ二週間白井哲夫ニ請暇ヲ許可セリ

○書類配付　各議員ニ左ノ書類ヲ配付セリ（文書函ニ投入）
明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案（第四號）
上奏案（安部井磐根外一名提出）
實業練習生補助費ニ關スル建議案（井上角五郎外三名提出）　昨十九日午前九時
明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案（第四號）（委員長報告書）
臺灣陸軍軍法會法案（委員長報告書）
軍機保護法案（委員長報告書）　同日午後二時

○委員會　今二十日開會ノ委員會左ノ如シ
北海道國有未開地處分法中改正法律案審査委員長及理事ノ互選　正午十二時
地租條例中改正法律案及田畑地價修正法律案委員會　午前十時
兌換銀行券條例中改正法律案及日本銀行納付金ニ關スル法律案委員會　同
醫師會法案委員會　午前十時
千葉縣茨城縣境界變更法律案委員會　正午十二時

○議事日程　今二十日ノ議事日程左ノ如シ
議事日程　第十號　明治三十一年十二月二十日（火曜日）
午後一時開會
第一　臺灣陸軍軍法會議法案（政府提出貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第二　軍機保護法案（政府提出貴族院送付）　第一讀會ノ續（委員長報告）
第三　實業練習生補助費ニ關スル建議案（井上角五郎君外三名提出）

○地方議會

○縣會　曩ニ開會ノ三重縣通常縣會ハ本月十四日、富山縣通常縣會ハ同十五日、香川、宮崎兩縣通常縣會ハ同十日孰モ閉會セリ

○市會　愛知及和歌山縣ニ於テ左ノ如ク市會ヲ開閉セリ
愛知縣　名古屋市ニ於テ此程市會ヲ開キ明治三十一年度歳入出豫算追加ノ件ヲ議決セリ（愛知縣）
和歌山縣　和歌山市ニ於テ市收入役選任等ノ件ニ附キ本月十五日市會ヲ開キ議事結了即日閉會セリ（和歌山縣）

○縣會議長當選　三重縣縣會議長海野謙次郎、同副議長福地次郎辭任ニ因リ其補闕選擧ヲ行ヒシニ議長ニ海野謙次郎（再選）、副議長ニ下田亨三當選セリ（三重縣）

○公使館及領事館報告

○木浦綿繻珍試賣狀況　木浦ニ於ケル本邦產綿繻珍試賣狀況ニ附キ同地駐在帝國一等領事久水三郎ヨリ本月七日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

本品ハ瓦斯絲ニテ織出シ大幅物ニテ長サ五丈二尺アリ綸子形其他種々ナル紋樣アリ染色モ亦數種ニシテ繻珍織ニ擬シ本邦ニ於テハ婦人ノ帶地ニ需要ス其產地ハ上野足利地方ナリト云フ近來之ヲ韓人ニ賣擴メントシテ釜山及當港等ヘ輸入シ試賣ニ從事スル者アリ依テ當地ニ於ケル現況ヲ取調ヘシニ韓人ハ之ヲ敷蒲團ニ使用スル趣ニテ其染色及紋樣等大ニ彼等ノ嗜好ニ適シ人氣大ニ宜シク將來販路ノ見込十分ナリト云フ目下一匹五圓六十錢位ニテ販賣セリ蓋シ輸入貿易上一種ノ本邦產ヲ增加シタルモノト謂フヘシ此際當業者ハ十分本品ノ信用ヲ博シ品質ヲ粗惡ナラシムルコトナク將來益々販路ノ擴張ヲ圖リ以テ重要輸入品タルノ地歩ヲ得ンコトヲ望ム

○印度米作概況　印度ニ於ケル米作概況ニ附キ孟買駐在帝國二等領事野間政一ヨリ去月十一日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

當國ベンゴール、マドラス兩州及下緬甸ニ於ケル本年米作ノ第一豫報ヲ得タレハ左ニ其概要ヲ抄譯ス

ベンゴール州ニ於ケル本年秋冬兩作ノ植付段別ハ昨年ヨリ著シク增加セルノミナラス平均面積ニ比シ亦遙ニ廣ク略々三千九百八十六万噎ヲ下ラサルノ豫定ナリ又緬甸ノ作付段別ハ五百七十五万噎ニシテ昨年ニ比シ九分ノ增加ナリ

マドラス州官有地ノ作地面積ハ略々三百六十万噎ニシテ十年平均ニ對スレハ三分ノ增加ヲ示セリト雖モ昨年ニ比スレハ尚ホ二分ノ減少ナリトス

ベンゴール州秋作ノ收穫高ハ七百九十三万四千八百噸、冬作ハ三千百九十三万三千噸ニシテ緬甸ノ秋作ハ五百七十四万五百四十三噸、マドラス州ハ三百六十一万噸ヲ得タリ緬甸ニ於テハ本年雨量適度ニシテ冬作ハ十分ノ豐作ヲ得ヘキ見込ナリ只プロム及アムハスト兩郡ノ作柄ハ詳ナラサレトモ前者ノ耕作段別ハ昨年ニ比シ增加セルモノヽ如シ

マドラス州ノ一部ニ於テハ多量ノ降雨アリテ河水氾濫シ爲ニ損害ヲ被リタル所アリ又或ル地方ノ如キハ未タ全ク植付ヲ終ラス目下東北時風ノ來ルヲ待チツヽアリ獨リサネベリ郡ハ雨量十分ニシテ概シテ豐收ヲ得ヘキ見込ナリ

本年ベンゴール州植付段別ノ增加シタルハ雨量ノ適宜ナリシト昨年黄麻下落ノタメ其耕作者意外ノ失敗ヲ招キタルヲ以テ本年ハ黄麻ノ植付ヲ廢シテ穀物ノ耕作ニ從事セル者多キニ居ルカ故ナリト云フ

同州ハ九月ニ入リ雨量過多ニシテ河川氾濫シ被害ノ場所少カラスト雖モ其損害高ハ未タ明瞭ナラス蓋シ北ビハルノ如キ低濕地ヲ除キテハ其損害大ナラサルヘシ從テ同州全體ノ冬作收穫上ニハ敢テ甚シキ影響ヲ及スニ至ラサルヘシ要スルニ目下ノ狀況ニテハ本年冬作ノ收穫高ハ昨年ノ九割七分ニ對シ九割五分ヲ得ルノ見込ナリ

○觀象

○全國氣象　十二月十七日

氣象區	測候所	氣壓（粍ヲ以テ示ス）前日午後十時	本日午前六時	本日午後二時	氣溫（攝氏ヲ以テ示シ氷點下ハ百ヲ加フ）前日午後十時	本日午前六時	本日午後二時	前日最高	前日最低	風（一ハ軟、二ハ和、三ハ疾、四ハ強、五ハ烈、六ハ颶風）前日午後十時		本日午前六時		本日午後二時		雨量（粍ヲ以テ二十四時間ノ量ヲ示ス）	天氣 前日午後十時	本日午前六時	本日午後二時
一	石垣島	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	—	—	—	快晴	曇	—
	那覇	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	北東	二	東	一	—	—	—	晴	快晴	—
	大島	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	南	一	南	一	—	—	—	曇	曇	—
	鹿兒島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	二	—	〇	北西	三	二	快晴	曇	雨
	宮崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	西	一	西	二	—	快晴	快晴	快晴
	高知	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	一	—	〇	西	二	—	快晴	曇	快晴
	德島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	一	北西	一	北西	二	—	快晴	快晴	快晴
	和歌山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	一	北	一	北	二	—	曇	快晴	曇
二	大分	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南西	一	南西	二	北	一	—	快晴	快晴	曇
	廣島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	北	一	南西	三	—	快晴	快晴	晴
	吳	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	西	三	南西	三	—	快晴	晴	曇
	松山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	西	二	北西	一	一	快晴	雨	雨
	多度津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	四	西	三	西	五	—	快晴	雨	曇
	岡山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	一	—	〇	南西	三	—	快晴	快晴	曇
	神戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	北西	一	西	二	—	晴	快晴	曇
	大阪	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	一	北東	一	北西	三	—	快晴	快晴	晴
	京都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	西	二	—	快晴	快晴	曇
	八木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	西	三	—	晴	晴	曇
三	熊本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	南	一	—	晴	快晴	雨
	佐賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	北	一	西	一	—	晴	雨	曇
	長崎	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	一	北西	二	西	四	—	曇	快晴	雨
	佐世保	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	北西	一	三	曇	雨	雨
	福岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	一	南東	一	南西	一	八	曇	雨	曇
	嚴原	—	[illegible]	[illegible]	—	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	—	北西	二	北西	三	—	—	曇	快晴
	赤間關	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	西	二	西	四	四	快晴	雨	晴
	濱田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	三	南	四	南東	五	一	晴	雨	曇
	境	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	西	一	南西	三	二	快晴	雨	雨
四	彦根	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南東	一	南東	一	北西	三	—	晴	快晴	快晴
	岐阜	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	南	一	—	晴	快晴	晴
	名古屋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	北	一	—	快晴	快晴	快晴
	津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	一	—	〇	西	三	—	快晴	快晴	晴
	濱松	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	一	西	二	西	二	—	快晴	快晴	快晴
	飯田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	西	三	—	晴	快晴	晴
	松本	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	西	一	南西	三	—	快晴	快晴	快晴
	甲府	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	一	—	〇	西	一	—	快晴	快晴	快晴
	沼津	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北東	一	北東	一	南西	三	—	快晴	快晴	快晴
	長津呂	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	三	西	四	西	五	—	快晴	快晴	快晴
	横須賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	南西	四	—	快晴	快晴	快晴
	横濱	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	一	西	一	西	二	—	快晴	快晴	快晴
	東京	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	一	—	〇	南	一	—	快晴	快晴	快晴
	布良	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東	三	北	三	西	五	—	快晴	晴	快晴
	銚子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	二	北	一	南西	三	—	快晴	快晴	快晴
	水戸	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北	一	北	一	南	三	—	快晴	快晴	快晴
	熊谷	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	一	北西	一	南東	二	—	快晴	快晴	快晴
	前橋	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	三	北西	三	西	四	—	快晴	快晴	快晴
	宇都宮	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	南	三	—	快晴	快晴	快晴
五	福井	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	南東	二	西	三	一〇	曇	曇	雨
	金澤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	三	南	一	南西	三	九	雨	雨	雨
	輪島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	二	南西	一	南西	四	三	晴	雨	晴
	伏木	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	二	南	二	南西	三	三	曇	晴	雨
	長野	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	—	〇	—	快晴	快晴	晴
	新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	一	西	四	南西	四	二	曇	雷雨	曇
	山形	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南	一	—	〇	南	三	四	快晴	雨	雨
	秋田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	四	北西	三	西	四	五	曇	曇	雨
六	福島	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	西	一	南西	四	—	快晴	曇	晴
	石巻	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	南西	二	南西	三	—	快晴	曇	晴
	宮古	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	—	〇	—	〇	—	快晴	曇	晴
七	青森	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	二	西	二	西	三	二	雪	曇	曇
	函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	西	三	西	三	西	四	—	曇	曇	晴
	壽都	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	北西	五	南	四	南	四	一	曇	雪	雨
	札幌	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—	〇	南	一	西	四	—	曇	曇	晴

測候所	氣壓 前日午後十時	氣壓 本日午前六時	氣壓 本日午後二時	氣温 前日午後十時	氣温 本日午前六時	氣温 本日午後二時	前日最高	前日最低	風 前日午後十時	風 本日午前六時	風 本日午後二時	雨量	天氣 前日午後十時	天氣 本日午前六時	天氣 本日午後二時
十勝	七五九・七	七五六・五	七四九・九	九七・二	八一・八	九八・九	〇・六	八三・一	北西 二	― 〇	― 〇	―	晴	快晴	曇
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

十二月十八日

○天氣概況　淺薄ナル低氣壓ハ現ニ北海道北部ヲ經過シツヽアリテ晴雨計ハ極北部ニ急降シ網走ハ七百四十七粍ヲ報セリ

西部ハ北乃至西ノ風、東部ハ南乃至西ノ風吹キ大平洋海岸ハ過半晴天ナレトモ日本海ハ少雨降レリ

温度ハ各地ニ著シク上昇セリ而シテ南海岸ノ所々ニ於ケル十四度ヨリ十勝ニ於ケル氷點下一度（釧路ハ午前六時ニ氷點下十八度）ノ間ニ在リ

測候所	氣壓 前日午後十時	氣壓 本日午前六時	氣壓 本日午後二時	氣温 前日午後十時	氣温 本日午前六時	氣温 本日午後二時	前日最高	前日最低	風 前日午後十時	風 本日午前六時	風 本日午後二時	雨量	天氣 前日午後十時	天氣 本日午前六時	天氣 本日午後二時
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

○天氣概況　氣壓ハ南部ニ減少シ北部ニ增加シテ其度ハ極西部ニ最モ高ク七百六十四粍、北海道東部ノ沖ニ最モ低ク七百五十四粍ヲ示セリ

全國北又ハ西ノ風吹キ過半晴天ナレトモ西及北西海岸ハ曇天ニシテ且ツ少雨雪降レリ

温度ハ北海道北部ヲ除ク外平均度以上ヲ示シ前橋ニ十六度、上川ニ氷點下五度ヲ示セリ

○全國天氣豫報　十二月二十日分　自十二月十九日午後六時 至十二月二十日午後六時

（一ヨリ四）北又ハ西ノ風、晴（五ヨリ七）北又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨又ハ雪模樣ノ所アリ

○東京地方天氣豫報　十二月二十日分　自十二月十九日午後六時 至十二月二十日午後六時

北ノ風、晴

（以上中央氣象臺）

○廣告

○圖書發刊

本局編纂
一法令全書　明治三十一年第十一號　定價金十錢　郵税金四錢

右本月十六日發刊本局竝ニ左記販賣所ニ於テ發賣ス

明治三十一年十二月

印刷局

販賣所

東京市神田區表神保町一番地　弘報社　八尾新助
東京市京橋區銀座一町目二十二番地　大日本圖書株式會社
大阪市西區靭中通一町目百十九番屋敷　重明舍　玉手弘通
京都市上京區三條通東洞院東入十七番戸　合資商報會社　濱岡光哲
名古屋市玉屋町三町目二十九番戸　永東書店　片野東四郎

○商業、法人及夫婦財産契約登記

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中新潟縣新潟市ニ於テ發行スル新潟新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

新發田區裁判所
村上區裁判所
柏崎區裁判所
六日町區裁判所
糸魚川區裁判所
相川區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中新潟縣新潟市ニ於テ發行スル東北日報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

新潟區裁判所
三條區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中新潟縣古志郡長岡町ニ於テ發行スル越佐新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

長岡區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中新潟縣中頸城郡高田町ニ於テ發行スル高田新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

高田區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年中栃木縣宇都宮市ニ於テ發行スル下野新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

宇都宮區裁判所
眞岡區裁判所
大田原區裁判所
栃木區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年中栃木縣足利郡足利町ニ於テ發行スル両毛實業新報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

佐野區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ長野縣下伊那郡飯田町ニ於テ發行スル伊奈公報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

飯田區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル民法上法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年中其登記所及管內町村役場ノ掲示場ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

長野地方裁判所管內
福島區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル民法上法人ノ登記ハ明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ奈良縣奈良市ニ於テ發行スル大和新聞及新大和新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

奈良區裁判所
松山區裁判所
高田區裁判所
五條區裁判所

明治三十二年一月ヨリ同十二月マテ當區裁判所竝ニ管內琴平、阪出、本島、粟熊、多度津各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ香川縣那珂郡丸龜町大字南條町ニ於テ發行スルさぬき新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

丸龜區裁判所

明治三十二年中當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ鳥取縣鳥取市因伯時報社ニ於テ發行スル因伯時報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

溝口區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル民法上法人ノ登記ハ明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ當廳竝ニ各出張所及管轄內町村役場ノ掲示場ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

宮地區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ熊本縣熊本市鹽屋町ニ於テ發行スル九州新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

人吉區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ管轄ニ屬スル法人ノ登記ハ明治三十二年中大分新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

杵築區裁判所

當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル民法上法人ノ登記ハ明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ各管轄區裁判所同出張所及町村役場ノ掲示場ニ掲ケテ公告ス
但シ掲示場未設ノ出張所ニ於テハ當分ノ內其出張所門前等公衆ノ見易キ場所ニ之ヲ掲ク

明治三十一年十二月

延岡區裁判所

明治三十二年一月一日ヨリ同十二月三十一日マテ當廳ニ於テ取扱フヘキ法人ノ登記ハ北海道每日新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

札幌區裁判所
岩內區裁判所
增毛區裁判所
浦河區裁判所
稚內區裁判所

明治三十二年中當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル法人及商業ノ登記ハ巖手日報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月

盛岡地方裁判所管內
宮古區裁判所

第4643号　本文

明治三十二年中當區裁判所竝ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ秋田縣秋田市ニ於テ發行スル秋田魁新報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　能代區裁判所

當區裁判所竝ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中防長新聞及長門日報ニ掲ケテ公告ス

但シ山口區裁判所三田尻出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ關門日報ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　山口區裁判所
德山區裁判所
岩國區裁判所
柳井津區裁判所
萩區裁判所
船木區裁判所

當區裁判所竝ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中馬關每日新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　赤間關區裁判所

當區裁判所竝ニ管内井田川本日貫、出羽各出張所ノ取扱ニ係ル法人ノ登記ハ明治三十二年中島根縣松江市ニ於テ發行スル山陰新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　大森區裁判所

明治三十二年中當區裁判所竝ニ管内各出張所ノ管轄ニ屬スル法人ノ登記ハ愛媛縣松山市ニ於テ發行スル愛媛新報、海南新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　松山地方裁判所管内
松山區裁判所

當區裁判所竝ニ管内各出張所ノ取扱ニ係ル法人及夫婦財産契約ノ登記ハ明治三十二年中愛媛縣松山市ニ於テ發行スル愛媛新報及海南新聞ニ掲ケテ公告ス

明治三十一年十二月　大洲區裁判所
八幡濱區裁判所

○汽車運轉休止

本月二十五日ヨリ當分ノ内左記ノ汽車大阪神崎間ノ運轉ヲ休止ス

明治三十一年十二月　鐵道作業局

下り			上り		
午前六時五十三分	大阪發（汽車）	神崎行	午前六時十五分	神崎發（汽車）	大阪行
同　十時十七分	同	同	同　九時四十一分	同	同
同　十一時五十七分	同	同	同　十一時	同	同
午後一時十五分	同	同	午後十二時四十分	同	同
同　四時四十二分	同	同	同　四時二分	同	同
同　八時四十七分	同	同	同　八時二十一分	同	同

○文官普通試驗

明治三十二年二月十三日ヨリ當府總督府ニ於テ文官普通試驗ヲ施行スル志願ノ者ハ左ノ各項ニ據リ願書ニ履歷書及身分ニ關スル本籍市町村長ノ證明書（現ニ官職ニ在ル者ハ官職及俸給ヲ記載スル者ハ所屬長官ノ認可證）ヲ添ヘ（同年一月三十一日マテニ臺灣總督府文官普通試驗委員長ニ差出スヘシ

明治三十一年十二月　臺灣總督府文官普通試驗委員長　石塚英藏

一　試驗手數料金二圓ハ訴訟印紙ヲ用ヒ願書ニ貼附スヘシ

二　受驗者ニ對シ別ニ呼出狀ヲ發セサルニ附キ試驗當日洋服又ハ羽織袴着用ノ事、硯、墨ヲ携帶シ試驗場ニ出頭名刺ヲ差出スヘシ

三　試驗願書及履歷書書式ハ明治三十一年十月二十五日官報又ハ同年同月十四日府報ニ記載キアル書式ニ據ルヘシ

四　試驗科目ハ撰擇ニ關スルモノハ其一ヲ擇ヒ願書ニ附記スヘシ

試驗科目

一　讀書　本邦及外國歷史大要

二　作文　（假名交リ文、書翰記事若シハ論說）

三　數學　珠算又ハ筆算　八簿記

四　法律大意　殊ニ憲法ニ關スル行政法　九土論

以上ノ科目ハ試驗ノ際撰擇取捨スルコトヲ得ス　十外國語

五　經濟學大意　會話及和文譯讀ニ關スル行政法　會話及和文譯讀ニ關スル

本邦及外國地理大要　以上ノ科目ハ受驗者ヲシテ其中ニ就キ讀メ一科目ヲ撰擇セシメ之ヲ試驗ス

○購買入札

一檜長　二間	幅　六寸	厚サ　二寸	二十七挺	一杉長　二間	尺　角　以上　尺ノ　五本
一杉長　二間	幅三寸五分	厚サ一寸二分	二十七挺	一松長　二間	尺　角　以上
一松長　二間	厚サ一寸	角	二百四十六本	一杉長　一丈	二本五分
一杉長　二間	幅	尺	五百枚	一松長　二間半	八本
一同	幅	厚サ一寸二分	三十一挺	一同	五寸　角
一同	幅四寸五分	厚サ一寸五分	四十三挺	一杉長　二間	九寸　角
一同				一松長　二間半	四挺
一杉長　一間	六幅	板尺	百四十八枚	一松長　九尺	末口六寸九太
一杉長　二間	幅	厚サ一寸五分	二十九挺	一松長　一間	四本
一同	四分	小割	一松長　三間	一杉長　二間	六寸　五分
	大	三寸	七尺　三寸	一松長　二間半	四挺
			八本	一杉長　九尺	四挺
				一松長　一間	四十四本
				一松長　一間	百枚
				一杉長　九尺	八枚
				以上東京葉煙草專賣所納	

第一號　精米　千石	姫路各隊分納	第三號　同	二百五十石	福知山各隊分納	
第二號　同　二百五十石	鳥取各隊分納	第四號　同	二十五石	鯖鳴各隊分納	

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上入札者ハ二年以上引續キ其業ニ從事セル者ニ限ル其證明書ハ明治三十二年一月六日マテニ第一號ハ姫路陸軍糧餉部、第二號ハ歩兵第四十聯隊第一大隊、第三號ハ歩兵第二十聯隊第一大隊第四號ハ鯖鳴要塞砲兵大隊軍吏ニ差出スヘシ

右購買入札望ノ者ハ本月二十四日ヨリ明治三十二年一月六日マテノ内（執務時間内）前項但書ノ各隊ニ出頭入札心得書及標本等熟覽ノ上同月十一日午前十時其入札書ヲ當部竝ニ各隊入札函ニ投入スヘシ同時開札ス

此契約ハ姫路陸軍糧餉部主管藤本忠一擔任ス

明治三十一年十二月二十日　姫路陸軍糧餉部

○工事請負入札

一　佐世保軍港小首丸山兩砦間連絡交通路開鑿工事　延長千三百五十七、メートル

入札保證金各自見積金高百分ノ五以上　入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且郡區市町村長ノ證明アル者竝ニ日以内ニ入夫百五十人以上ヲ準備シ得ル確證アル者ニ限ル　此證明書ハ入札期日三日前マテニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ入札心得書、設計書、圖面及契約書案ハ當支部ニ、實地ハ明治三十二年一月二日、當日暴風雨ニテ施行シ難キトキハ順延）現場ニ就キ官吏立會熟覽ノ上同月四日午前十時當支部ニ入札スヘシ

明治三十一年十二月二十日　築城部佐世保支部

一　名古屋衛戍病院同圍木橋修繕

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金若シハ證券ニ從事スル旨證明アル者竝ニ從事セル者ニシテ部區長又ハ市町村長ノ證明アル者ニ限ル　此證明書ハ入札期日三日前マテニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ本月二十八日マテノ内午前九時ヨリ午後三時マテニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案、圖面等熟覽ノ上明治三十二年一月六日午前十一時限入札保證金ヲ添ヘ當部ニ入札スヘシ

即時開札ス

此契約ハ名古屋陸軍經營部主管平山重藏擔任ス

明治三十一年十二月二十日　名古屋陸軍經營部

○入札拂下

一　眞鍮交（コーク）　一歩　一金壹圓也　一箇所　弘前練兵場廠庫

右實物以上入札保證金各自見積價額百分ノ六以上（國庫未濟切上ケ）

品入札心得書及契約書案熟覽ノ上同日午前ニ入札スヘシ

此契約ハ東京砲兵工廠提理標井重藏擔任ス

明治三十一年十二月二十日　東京砲兵工廠

○支金庫移轉

中央金庫所屬熊谷支金庫本月十九日大里郡熊谷町大字熊谷三百六十三番地ヨリ移轉ス

明治三十一年十二月　中央金庫

○相續財産管理人選任

右ハ嘉永元年十二月二十四日本籍地ニ於テ生レ明治三十一年九月二十八日避病室ニ於テ死亡シ相續人ナルヨリ分明ナルニ附キ同日午前十時九番目高橋申立ニ因リ同縣申請原郡菱潟村大字蛸手與野十七番戸平民農相田勘二郎ヲ相續財産管理人ニ選任セリ

新潟縣區裁判所　判事　神尾肇

明治三十一年十二月十五日

○相續財産管理人選任

新潟縣中蒲原郡菱潟村大字蛸手與野十七番戸平民農相田勘二郎第一嫡男同縣新潟市本町通九番町十六番戸寄留士族相續人

右ハ嘉永元年十二月二十四日本籍地ニ於テ生レ明治三十一年九月二十八日避病室ニ於テ死亡シ相續人ナルヨリ分明ナルニ附キ同日午前十時九番目高橋申立ニ因リ同縣申請原郡菱潟村大字蛸手與野十七番戸平民農相田勘二郎ヲ相續財産管理人ニ選任セリ

新潟區裁判所　判事　神尾肇

明治三十一年十二月十五日

○相續財産管理人選任

愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸附籍平民農出生、死亡及最後ノ住所同上

被相續人　堀口　八藏

天保九年十月十三日生

右明治二十四年十一月十一日死亡相續人分明ナラサルニ附キ利害關係人愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸住中西令朔次郎ノ申立ニ因リ申立人ヲ被相續人堀口八藏ノ相續財産管理人ニ選任ス

明治三十一年十二月十七日

○準禁治産宣告

新潟縣中頸城郡下板倉村大字下箱井十番戸平民農　植木　平作

右ノ者ニ對シ實父植木利七ノ申立ニ因リ明治三十一年十二月十日準禁治産ノ宣告セリ

高田區裁判所　判事　高橋長藏

明治三十一年十二月十七日

○相續財産管理人選任

新潟縣中蒲原郡菱潟村大字蛸手與野十七番戸平民農相田勘二郎第一嫡男同縣新潟市本町通九番町十六番戸寄留士族相續人

右ハ嘉永元年十二月二十四日本籍地ニ於テ生レ明治三十一年九月二十八日避病室ニ於テ死亡シ相續人ナルヨリ分明ナルニ附キ同日午前十時九番目高橋申立ニ因リ同縣申請原郡菱潟村大字蛸手與野十七番戸平民農相田勘二郎ヲ相續財産管理人ニ選任セリ

新潟區裁判所　判事　神尾肇

明治三十一年十二月十五日

○相續財産管理人選任

愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸附籍平民農出生、死亡及最後ノ住所同上

被相續人　堀口　八藏

天保九年十月十三日生

右明治二十四年十一月十一日死亡相續人分明ナラサルニ附キ利害關係人愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸住中西令朔次郎ノ申立ニ因リ申立人ヲ被相續人堀口八藏ノ相續財産管理人ニ選任ス

明治三十一年十二月十七日

○準禁治産宣告

新潟縣中頸城郡下板倉村大字下箱井十番戸平民農　植木　平作

右ノ者ニ對シ實父植木利七ノ申立ニ因リ明治三十一年十二月十日準禁治産ノ宣告セリ

高田區裁判所　判事　高橋長藏

明治三十一年十二月十七日

○相續財産管理人選任

右相續人アルコト分明ナラサルニ附キ鳥取區裁判所檢事一色信太郎ノ請求ニ因リ鳥取縣八頭郡隼村大字見槻中村二百三十五番地平民農森田太郎平ヲ被相續人森田辰三郎ノ相續財産管理人ニ選任ス

右公告ス

明治三十一年十二月十五日　鳥取縣八頭郡隼村大字見槻中村二百三十五番地平民農森田太郎平

○相續財産管理人選任

右相續人アルコト分明ナラサルニ附キ鳥取區裁判所檢事一色信太郎ノ請求ニ因リ

大字見槻中村二百三十五番地平民農森田太郎平ヲ被相續人森田辰三郎ノ相續財産管理人ニ選任ス

右公告ス

明治三十一年十二月十五日　鳥取縣八頭郡隼村大字見槻中村大字

○相續財産管理人選任

右ノ者死亡跡相續人ノ有無不分明ニ附キ玉津區裁判所檢事曾根俊吉ノ請求ニ因リ

西眞玉村井口四百七十五番地ニ於テ死亡シ相續財産ノ管理人ニ選任シタリ

明治三十一年十一月二十八日　玉津區裁判所

判事　加來勞太郎

○相續財産管理人選任

右ノ者死亡跡相續人ノ有無不分明ニ附キ玉津區裁判所檢事曾根俊吉ノ請求ニ因リ

大分縣西國東郡西眞玉村四百三十五番地平民月主無職業　檢垣　サキ

明治三十一年十月三十一日西國東郡玉津町九十九番地ニ於テ死亡シ相續財産ノ管理人ニ選任ス

玉津區裁判所

判事　加來勞太郎

○相續財産管理人選任

巖手縣西磐井郡一關町五百十番戸平民漁業最後ノ住所同縣気仙郡唐丹村

被相續人

天保十年四月六日懷手縣東磐井郡八澤村大字德山ニ於テ出生

明治三十一年九月四日最後ノ住所ニ於テ死亡

右相續人アルコト分明ナラサルニ附キ磐井區裁判所檢事伴長惡ノ請求ニ因リ

同年九月四日午後四時マテニ當廠ニ出頭現

此契約ハ東京砲兵工廠提理標井重藏擔任ス

明治三十一年十二月五日　磐井區裁判所

判事　高橋伊三郎

○相續財産管理人選任

山口縣阿武郡川上村第二百七十五番屋敷平民戸主農最後ノ住所同番屋敷

被相續人　和田　勇吉

明治三十一年十一月十一日死亡相續人分明ナラサルニ附キ萩區裁判所檢事秋元茂市ノ請求ニ因リ

嘉永三年六月十日同村第二百七十六番屋敷ニ於テ出生

同村第二百七十五番屋敷ニ於テ死亡

山口縣阿武郡川上村第二百七十五番屋敷ニ於テ死亡

右相續人アルコト分明ナラサルニ附キ萩區裁判所檢事秋元茂市ノ請求ニ因リ山口縣阿武郡川上村第二百七十六番屋敷平民戸主和田作右衛門ヲ被相續人和田勇吉ノ相續財産管理人ニ選任ス

明治三十一年十二月十五日

○相續財産管理人選任

愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸附籍平民農出生、死亡及最後ノ住所同上

被相續人　堀口　八藏

天保九年十月十三日生

右明治二十四年十一月十一日死亡相續人分明ナラサルニ附キ利害關係人愛媛縣上浮穴郡仁七川村大字東川百三十七番戸住中西令朔次郎ノ申立ニ因リ申立人ヲ被相續人堀口八藏ノ相續財産管理人ニ選任ス

明治三十一年十二月十七日

○準禁治産宣告

新潟縣中頸城郡下板倉村大字下箱井十番戸平民農　植木　平作

右ノ者ニ對シ實父植木利七ノ申立ニ因リ明治三十一年十二月十日準禁治産ノ宣告セリ

高田區裁判所　判事　高橋長藏

明治三十一年十二月十七日

○導蝗治産宣告

明治三十一年十二月十六日

鳥取區裁判所

裁判官　園屋盛治

○導蝗治産宣告

明治三十一年十二月十七日

豊岡區裁判所

裁判官　戸田忠正

○導蝗治産宣告

明治三十一年十二月十六日

白河區裁判所

裁判官　中川止雄

○公示催告

明治三十一年十二月十六日

白河區裁判所

○公示催告

明治三十一年十二月十七日

熊谷區裁判所

○公示催告

明治三十一年十二月十七日

下田區裁判所

裁判官　菊地義行

○公示催告

明治三十一年十二月十六日

小松區裁判所

○公示催告

明治三十一年十二月十六日

錦木區裁判所

○失踪宣告

明治三十一年十二月十六日

錦木區裁判所

裁判官　中川止雄

○公示催告

明治三十一年十二月十四日

東京府

○公示催告

明治三十一年十二月十七日

群馬縣

○公示催告

明治三十一年十二月十四日

日本鐵道株式會社

○市公債證書書損

大阪市告示第三十七號

本年大阪市告示第三十六號ニヨリ水道公債元金七万千圓下水道公債元金四万七千二百圓償還ノ爲抽籤執行候處其當籤證書種類記番號左ノ如シ

水道公債證書

千圓

番號	番號	番號	番號
二五五二	二二四	三二三	三五六
四六六	九五六	四六五	八〇

五百圓

番號	番號	番號	番號
八七五四	八六五四	八七五五	八七五二
九九六五	二九三六	二〇七五	七四五六

百圓

番號	番號	番號	番號
九七五五	八七五四	八七五五	八七五二
二七五〇	三〇〇四	五五〇〇	七四五六

水道公債證書

千圓

番號	番號	番號	番號
二五五二	二二四	三二三	三五六
四六六	九五六	四六五	八〇

五百圓

番號	番號	番號	番號
八七五四	八六五四	八七五五	八七五二
九九六五	二九三六	二〇七五	七四五六

百圓

番號	番號	番號	番號
九七五五	八七五四	八七五五	八七五二
二七五〇	三〇〇四	五五〇〇	七四五六

五拾圓

番號	番號	番號	番號
九九九九	九九九八	九九九九	九九九八
九七五三	〇〇九七	〇〇九六	〇〇九五
五四四四	〇〇八七	〇〇八六	〇〇八五
九七六三	九六九六	九六九五	九六九四
四六三一	二九〇八	二九〇七	二九〇六

貳拾五圓

番號	番號	番號	番號
九九九九	九九九八	九九九九	九九九八
九七五三	〇〇九七	〇〇九六	〇〇九五
五四四四	〇〇八七	〇〇八六	〇〇八五
九七六三	九六九六	九六九五	九六九四
四六三一	二九〇八	二九〇七	二九〇六

拾圓

番號	番號	番號	番號
九九九九	九九九八	九九九九	九九九八
九七五三	〇〇九七	〇〇九六	〇〇九五
五四四四	〇〇八七	〇〇八六	〇〇八五
九七六三	九六九六	九六九五	九六九四
四六三一	二九〇八	二九〇七	二九〇六

第4643号　本文

第4643号 本文

二九九　六四一
三一六　六七二
三七九　七三六
五四〇　七八八
五四六　七九〇
五五二　七九一
〆三十六枚

下水道公債證書

千圓 以號

一　六八
三一
四三
四六
四八
五六

五百圓 呂號

三　九八　一三六　二〇三　二二七
一〇　九九　一四一　二〇六　二三六
一二　一〇〇　一四二　二〇八
三七　一一六　一四六　二一〇
六二　一三〇　一五五　二一二
八七　一三四　一六八　二二六
〆二十六枚

百圓 波號

一三　五九　一二七　二〇五　三六七　四二五　四六九　五五一　五九八　八〇一　九〇八　九八〇　一〇一一　一〇三二　一一一〇　一一五〇　一三一五　一三四六　一三八八　一四二七　一四五一　一五九四　一六六五　一七二八　一七九六　一八三七　一八七九　二〇〇五　二〇六九　二一五五　二二〇七　二二五六　二三二八　二三六〇　二三八五
二四　六一　一三四　二一〇　三七八　四四一　四八六　五五三　六一〇　八七三　九二八　九八二　一〇一三　一〇六三　一一一四　一一九一　一三二一　一三六〇　一三九六　一四二九　一四八九　一六一二　一六七九　一七四〇　一八〇三　一八四二　一九〇二　二〇三二　二〇七四　二一五七　二二二一　二二五八　二三三一　二三六一　二三九一
四三　六五　一五九　二五二　三七九　四四二　四八七　五五四　六三三　八八四　九二五　九八三　一〇一四　一〇八六　一一二八　一二〇九　一三二九　一三六二　一三九九　一四四〇　一四九一　一六三七　一六八〇　一七六〇　一八〇五　一八四七　一九三四　二〇三三　二一〇二　二一六二　二二三〇　二二七八　二三三五　二三六五　二三九二
五〇　九八　一六一　二五三　四一一　四五四　四九五　五六一　六八二　八八五　九三一　九八四　一〇一七　一〇九〇　一一四四　一二八〇　一三三二　一三六九　一四〇一　一四四一　一四九七　一六四五　一六八二　一七六九　一八〇六　一八六三　一九四一　二〇三七　二一一四　二一七三　二二四六　二二七九　二三三六　二三六七　二三九三
五一　一〇三　一六四　二八五　四一五　四六一　五一一　五六七　七一八　八八八　九五六　九九八　一〇二四　一〇九五　一一四七　一三一三　一三三三　一三八二　一四二五　一四四八　一五三四　一六五五　一七一二　一七七四　一八二八　一八六七　一九五四　二〇四〇　二一一六　二一八四　二二四九　二二八三　二三五二　二三七九　二四〇四
五三　一一三　一六八　二九六　四二一　四六三　五二八　五八五　七九〇　八九一　九六一　一〇〇六　一〇二五　一〇九六　一一四八　一三一四　一三四五　一三八五　一四二六　一四五〇　一五八二　一六六三　一七二三　一七七八　一八三六　一八七三　一九九七　二〇六六　二一五三　二二〇六　二二五五　二二九九　二三五七　二三八〇　二四三一
二四三九
二四四一
二四五五
二四八七
〆二百十四枚

五拾圓 尓號

二　六四　一一五　一四三　一九五　二八五　三七二　四一〇　四三六　四六一　五〇九　五五七　五九四　六二九　七〇〇　七三八　七八八　八九四　九二八　九九三
一八　七五　一一八　一五三　二二一　三二六　三七三　四二〇　四三七　四六八　五一〇　五七〇　五九七　六三三　七〇三　七五二　八三二　八九八　九三〇　九九五
二二　七八　一二〇　一六九　二二四　三四六　三七四　四二一　四三九　四七〇　五一一　五八〇　五九八　六三七　七〇九　七五三　八三三　九〇〇　九三一
二三　八五　一三二　一七二　二二九　三四七　三八一　四二二　四四五　四七二　五一四　五八一　六〇〇　六八六　七一五　七五四　八五六　九〇八　九三七
四七　一一一　一三六　一七三　二四七　三五三　三八七　四二七　四四九　四八〇　五五一　五八六　六〇七　六九三　七三〇　七五五　八八九　九一一　九四二
四九　一一三　一三九　一九一　二六九　三五五　四〇二　四三四　四五七　四九三　五五二　五八九　六二七　六九四　七三一　七八二　八九二　九一七　九六八
〆百十六枚

右償還元金ハ本月二十五日以後左記取扱所又ハ代理店ニ於テ當籤公債證書引換ニ現金拂渡スヘシ

大阪市現金取扱所

大阪市　株式會社第七十九銀行
同　同　大阪共立銀行
同　同　第五十八銀行

各地方取扱代理店

東京市京橋區南傳馬町一町目　株式會社浪速銀行支店
京都市烏丸通六角南へ入ル觀音町　同　中京銀行
横濱市辨天通一町目　同　第三銀行支店
神戸市鍛冶屋町　同　第五十八銀行支店
名古屋市傳馬町七町目　同　明治銀行
和歌山市十一番町　同　第四十三銀行
德島市内船場六町目　同　第八十九銀行支店
岡山市船着町　同　第二十二銀行
堺市寺地町西四町　指吸銀行
奈良市大字光明院　株式會社奈良銀行
熊本市米屋町　同　第九銀行

明治三十一年十二月十五日

大阪市參事會
大阪市長　田村太兵衛

明治二十五年三月三十一日遞信省認可　（三二）